

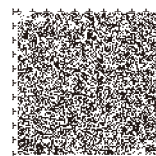
# 東京2020大会

## — 調布市報告書 —

PARALYMPIC TORCH RELAY  
TOKYO 2020



この冊子には、音声コード「Uni-Voice」が各ページに印刷されています。スマートフォンの専用アプリなどで読み取ると、音声で内容が確認できます。音声コードの位置を把握できるよう、音声コードの横に半円の切り欠きを施しています。



## はじめに 【報告書の発行に当たって】

世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、史上初の1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）は、多くの会場において無観客で開催されました。国内では、政府による緊急事態宣言が発出される中、直前まで大会開催の可否が問われることとなりましたが、困難な状況下でも最高のパフォーマンスを発揮したアスリートや、多くの関係者のご尽力により、成功裏に終了のときを迎えることができました。パラリンピックのバドミントン女子ダブルス（車いす）において、堂々の金メダルを獲得した、元調布市役所職員の山崎悠麻選手をはじめとした調布市応援アスリートを含め、すべての競技者が自らの目標に向かって果敢に挑戦する姿は、全市民、とりわけ次代を担う子どもたちに大きな感動、そして夢と希望を与えてくれたものと確信しています。



市内では、東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザ、都立武蔵野の森公園において6競技が開催され、無観客ながらも、世界最高峰のアスリートの熱戦が調布から世界へ向けて配信されました。2019年に開催されたラグビーワールドカップ日本大会に引き続き、世界最大級のスポーツイベントが市内で開催されたことは調布市の歴史に未来永劫語り継がれる慶事であります。また、パラリンピックの開催は、障害の有無にかかわらず、だれもが住み慣れたまちで安心して暮らし続けられる共生社会の一層の充実に向け、ユニバーサルデザインの理念に基づくまちづくりを進めてきた調布市にとって、非常に意義深いことだったと捉えております。

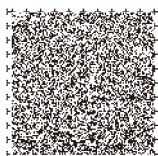
市では、2016年7月に「2020年に向けた調布市の取組方針」を策定し、東京2020大会に向けた市の取組の方向性を決めました。そして、その具現化を図るため、「調布市アクション & レガシープラン」を策定し、市内外の関係者とともに、「オール調布」体制で取組を進めて参りました。

新型コロナウイルスに対応しなければならないという大変困難な状況下において、多くの事業が変更・縮小・中止を余儀なくされたことは残念だったものの、「オール調布」で進めてきた様々な取組を大会のレガシーとして継承・発展させ、次代のまちづくりにつなげて参ります。

最後になりますが、大会開催に向けた市の取組にご協力いただいたすべての関係機関・団体、また個人の皆さまに、衷心より感謝申し上げます。

調布市長

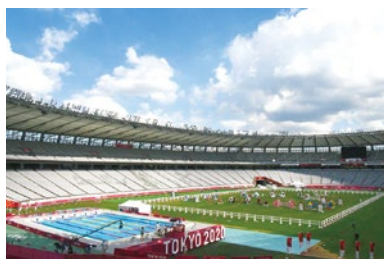
長友貴樹



## 目次

はじめに **【報告書の発行に当たって】****1** **【第1章】大会概要**

003 東京2020大会概要

**2** **【第2章】大会に向けた取組**

- 011 第1部 大会開催までの調布市のあゆみ
- 025 第2部 機運醸成
- 037 第3部 調布市応援アスリート
- 041 第4部 ホスタウン

**3** **【第3章】聖火リレー**

- 045 オリンピック聖火リレー
- 049 パラリンピック聖火リレー

**4** **【第4章】大会期間中の取組**

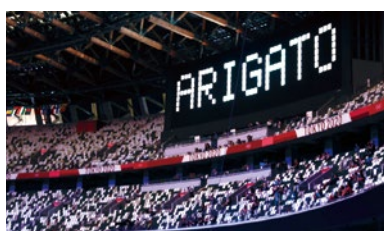
053 大会期間中の市の取組

**5** **【第5章】各分野における調布市の取組**

- 059 アクション&レガシープラン 取組①【スポーツ・健康づくり】
- 065 アクション&レガシープラン 取組②【産業・観光振興】
- 071 アクション&レガシープラン 取組③【まちづくり】
- 077 アクション&レガシープラン 取組④【文化・国際交流・平和】
- 083 アクション&レガシープラン 取組⑤【教育・青少年の健全育成】

**6** **【第6章】総括**

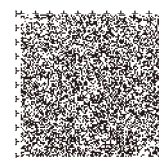
089 総括 (レガシー)



©PHOTO KISHIMOTO

**資料編**

- 095 東京2020大会までの道のり
- 097 2019-2020 プロジェクトメンバー 一覧



## 東京2020大会概要

新型コロナウイルス感染拡大の中、史上初の1年延期となった東京2020大会は、多くの会場で無観客開催となりましたが、調布市応援アスリートの山崎悠麻選手がパラリンピックのバドミントン女子ダブルスで金メダル、女子シングルスで銅メダルを獲得したことをはじめ、日本選手団のメダル獲得数が過去最多となり、大会を盛り上げました。

## 第32回オリンピック競技大会

会期	2021(令和3)年7月23日(金)～8月8日(日)【17日間】
競技 / 種目数	33競技(うち追加競技:野球・ソフトボール・空手・スケートボード・スポーツクライミング・サーフィン) / 339種目
調布市内開催競技	バドミントン・自転車競技(ロードレース)・サッカー・近代五種・7人制ラグビー
会場数	42会場(都内24会場・都外18会場)
参加国等	205の国・地域及び難民選手団
参加人数	選手11,417人(うち日本選手団583人)、女性選手の割合約49%
日本のメダル数	総メダル数58個(金27個、銀14個、銅17個)(過去最多)
観客	無観客:東京・埼玉・千葉・神奈川・北海道・福島 有観客:宮城・静岡・茨城(学校連携観戦のみ)(観客は43,300人)

4年に1度開催される、世界的なスポーツの祭典。日本での開催は、東京1964年、札幌1972年、長野1998年。夏季オリンピックは、57年ぶり2度目。「復興五輪」として、東日本大震災(2011年)から10年の節目の年に開催されました。

## 東京2020パラリンピック競技大会

会期	2021(令和3)年8月24日(火)～9月5日(日)【13日間】
競技 / 種目数	22競技(うち新競技:バドミントン・テコンドー) / 539種目
調布市内開催競技	車いすバスケットボール
会場数	21会場(都内15会場・都外6会場)
参加国等	162の国・地域及び難民選手団
参加人数	選手4,403人(うち日本選手団254人)、女性選手の割合約42%
日本のメダル数	総メダル数51個(金13個、銀15個、銅23個)(過去2番目)
観客	無観客[学校連携観戦]東京・埼玉・千葉で実施(都内は参加10,543人)

障害のあるトップアスリートが出場するスポーツの祭典。4年に1度、オリンピック競技大会の終了後に同じ場所で開催されています。東京は、同一都市として初めて2回目の夏季パラリンピックを開催した都市です。

## 大会エンブレム

## 組市松紋(くみいちまつもん)

市松模様を使い日本の伝統色である藍色で、粋な日本らしさを描きました。形の異なる3種類の四角形を組み合わせ、「多様性と調和」のメッセージが込められています。



## 大会マスコット

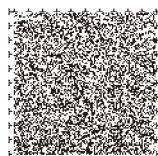


## ミライトワ

素晴らしい「未来」を「永遠(トワ)」に、という願いを込めて名付けられました。

## ソメイティ

桜を代表する「ソメイヨシノ」と、非常に力強いという意味の「so mighty」から名付けられました。



## 調布市内競技会場



### 東京スタジアム

サッカーをはじめ、多彩なイベントに使用される多目的スタジアム。観客席は約50,000席もある大規模な会場です。ラグビーワールドカップ2019では開会式、開幕戦を含む8試合が繰り広げられ、多くの感動が生まれました。

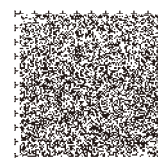
### 武蔵野の森総合スポーツプラザ

多摩地域のスポーツ拠点として、2017年11月に開業した総合スポーツ施設。大規模なスポーツ大会やイベント興行が数多く行われています。2018・2019年には天皇杯 日本車いすバスケットボール選手権大会と車いすバスケットボールの国際大会が開催されました。



### 都立武蔵野の森公園

調布市・府中市・三鷹市に跨る都立公園。周囲には武蔵野の森が広がり、森の緑を背景として美しい景観が楽しめます。園内の「ふるさとの丘」からは調布飛行場が一望でき、澄んだ空気の日には新宿副都心のビルを望めます。



## コロナ禍と大会延期

### 東京2020大会の延期

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京2020大会は史上初の延期となりました。延期後は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、組織委員会、IOC、政府、東京都などにより必要な対応策が検討され、大会準備が進められました。

### ■大会延期の経緯

日時	経緯	
2020年	3月23日	IOC 理事会で大会延期も含めた検討を進めることに合意
	3月24日	安倍内閣総理大臣(当時)とIOC バッハ会長が電話会談
		IOC 理事会で、遅くとも2021年の夏までの時期に延期すること等が承認
	IOC と組織委員会が共同声明発表	
3月30日	IOC 臨時理事会で、新たな開催日程が承認	

### 新型コロナウイルス感染症対策の検討と実行

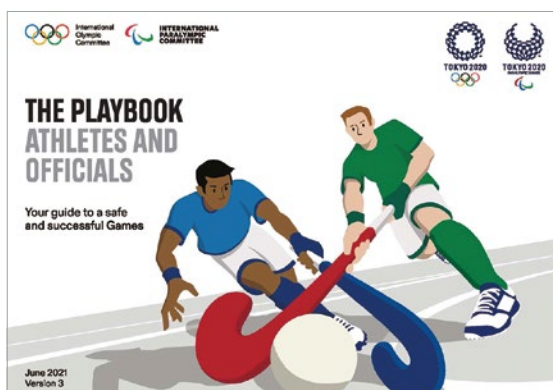
延期後は関係者により具体的な感染症対策の検討が進められ、IOC、IPC、組織委員会、東京都、政府、WHO 並びに専門家による議論を踏まえ、東京2020大会において参加者が遵守すべきコロナ対策上のルールを取りまとめた「東京2020プレイブック」が関係者ごとに作成・公表されました。

コロナ禍における安全・安心な大会を実現するため、マスクや物理的距離の確保、三密の回避といった基本的な新型コロナウイルス感染症対策に加え、海外入国者数の絞り込み、入国前の2回の検査及び入国後の定期的な検査の実施、厳格な用務先の限定／行動管理、健康管理、陽性者が確認された場合の

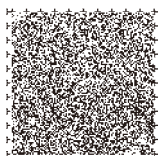
迅速な隔離等、海外からの感染の持込を抑制し、選手村や競技会場における感染拡大を防止する対策が取られました。

さらには、大会に伴う人流抑制のため、東京都による交通需要マネジメントの推進、ライブサイト等の中止・デジタル配信への転換、多くの会場で無観客開催としてステイホーム観戦が呼びかけられたことにより、人流の抑制が図られました。

調布市においても、市民の安全・安心の確保の観点から、大会期間中に予定していた市主催のコミュニティライブサイトの中止及びオンラインによる取組への転換等により、人流の抑制を図りながら大会の盛り上げを図る取組を展開しました。



東京2020プレイブック



大会結果

東京2020大会では、オリンピックでは、過去最多と並ぶ205の国・地域から約11,000人の選手が参加し、パラリンピックでは、リオ大会を上回る162の国・地域から約4,400人が参加しました。選手の活躍も目覚ましく、オリンピックでは26個、パラリンピックでは157個の世界新記録が誕生しました。また、多様性あふれる大会となり、性的マイノリティの選手も多く出場し活躍しました。日本人選手も活躍し、メダル数は、オリンピックでは過去最多の計58個(金27・銀14・銅17)、パラリンピックで過去2番目

の計51個(金13・銀15・銅23)という成績を残しました。調布市応援アスリートからは、相馬勇紀選手がサッカー男子でベスト4に進出、元調布市職員の山崎悠麻選手は、パラリンピックのバドミントン女子ダブルス(里見紗李奈ペア)で金メダル、女子シングルスで銅メダルを獲得する活躍を見せました。コロナ禍により、多くの会場で無観客開催となりましたが、試合の様子は地上波をはじめ、インターネットでもライブ配信さ

れ、世界でのインターネット視聴時間は過去最大となる大会でした。

また、この大会は、コロナによって分断された世界をスポーツの力で一つにし、世界中の人々に勇気と希望を与えました。



左:里見選手・右:山崎選手 ©PHOTO KISHIMOTO

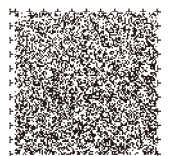
■東京2020大会がもたらした価値

	東京2020オリンピック (7月23日～8月8日・33競技339種目)	東京2020パラリンピック (8月24日～9月5日・22競技539種目)
世界中からアスリートが参加	過去最多と並ぶ <b>205の国・地域</b> と難民選手団 合わせて選手約 <b>11,417人</b> が参加	リオ大会を上回る <b>162の国・地域</b> と難民選手団 合わせて選手約 <b>4,403人</b> が参加(選手数過去最多)
高いパフォーマンスを発揮	世界新記録が <b>26個</b> 誕生	世界新記録が <b>157個</b> 誕生
史上最も多様性あふれる大会	性的マイノリティ(LGBTQ*)であることを明かして参加する選手の数が、	
	過去最多の <b>186人</b> に(2016年リオ大会の3倍)	過去最多の <b>36人</b> に(2016年リオ大会の3倍)
日本選手団の大活躍	過去最多の <b>総メダル数58個</b> を獲得(これまでの最多は2016年リオ大会の41個)	過去 <b>2番目</b> の <b>総メダル数51個</b> を獲得(過去最多は2004年アテネ大会の52個)

コロナによって分断された世界を、スポーツの力で一つにした大会

出典:2021年12月24日 東京都議会 オリンピック・パラリンピック特別委員会資料

※ LGBTQとは、Lesbian(レズビアン)、Gay(ゲイ)、Bisexual(バイセクシャル)、Transgender(トランスジェンダー)、Queer(クィア)やQuestioning(クエスチョニング)の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者(セクシャルマイノリティ)を表す言葉の一つ



## 市内関係競技の結果

市内では、3つの競技会場において、6競技が開催されました。開会式に先立って東京スタジアムで行われたサッカー男子の予選では、日本が南アフリカに1対0で勝利しました。

同会場で行われた7人制ラグビーでは、男子がフィジー、女子がニュージーランドの金メダルで幕を閉じました。バドミントンでは、調布市応援アスリートの桃田賢斗選手が出場し

ましたが、惜しくも2回戦で敗れました。近代五種では、史上初めて同一会場で全種目が実施され、日本人選手3人が出場しました。自転車ロードレースは、男子130人、女子67人

## 調布市内開催競技スケジュール【オリンピック】

競技	会場	7月						
		21 (水)	22 (木)	23 (金)	24 (土)	25 (日)	26 (月)	27 (火)
バドミントン	武蔵野の森 総合スポーツ プラザ			開 会 式	男 女 9:00~14:30 18:00~22:00	男 女 10:00~15:30 18:00~21:30	男 女 10:00~15:30 18:00~21:30	男 女 10:00~15:30 18:00~21:30
近代五種 (フェンシング)								
サッカー	東京スタジアム	女 17:30 } 22:30	男 17:00 } 22:00					
7人制ラグビー							男 9:00~12:00 16:30~19:30	男 9:00~12:00 16:30~19:30
近代五種 (フェンシング・水泳・馬術・ レーザラン)								
自転車競技 (ロードレース)	都立 武蔵野の森公園					男 11:00 } 18:15	女 13:00 } 17:35	

※バドミントン、近代五種、7人制ラグビーは調布市内のみの開催

## 調布市内開催競技スケジュール【パラリンピック】

競技	会場	8月							
		24 (火)	25 (水)	26 (木)	27 (金)	28 (土)	29 (日)	30 (月)	31 (火)
車いす バスケットボール	武蔵野の森 総合スポーツ プラザ	開 会 式	男 女 9:00 } 22:15	男 女 9:00 } 22:15	男 女 9:00 } 22:15	男 女 9:00 } 22:15	男 女 9:00 } 22:15		

※車いすバスケットボールは、8月26日(木)から9月5日(日)まで、有明アリーナでも開催



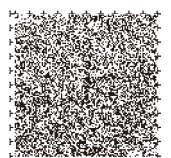
の選手が参加。都立武蔵野の森公園をスタートし、都内の多摩地域8市を通過後、静岡県駿東郡小山町にある富士スピードウェイでゴールとなりました。武蔵野の森総合スポーツ

ラザで予選が開催された車いすバスケットボールでは、男子代表が初の決勝に進出し、前回リオデジャネイロパラリンピックで金メダルを獲得したアメリカに60対64の僅差で惜し

くも敗れました。1976年のトロント大会から出場し、12回目の挑戦で初めてのメダル獲得となり、新たな歴史を刻みました。

7月				8月							
28 (水)	29 (木)	30 (金)	31 (土)	1 (日)	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)	7 (土)	8 (日)
男 女 9:00~14:30 18:00~21:30	男 女 9:00~15:30 17:00~22:00	男 女 9:00~12:30 15:30~21:30	男 女 9:00~16:00 18:00~23:00	男 女 13:00~16:00 20:30~23:00	男 女 13:00~15:30 20:00~23:00						閉 会 式
								男 女 13:00 } 19:30			
男 9:00~12:00 16:30~19:00	女 9:00~12:00 16:30~19:30	女 9:00~12:00 16:30~19:30	女 9:00~12:00 16:30~19:00								
									女 14:30 } 20:15	男 14:30 } 20:15	

9月				
1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)	5 (日)
				閉 会 式



大会期間中の市内競技会場等の記録



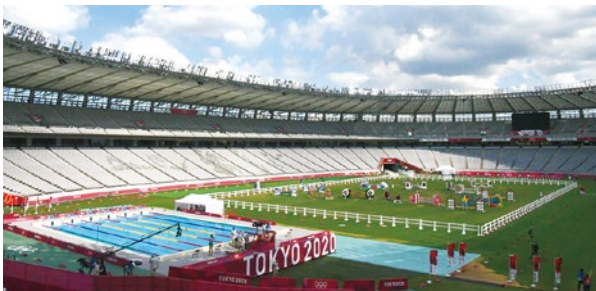
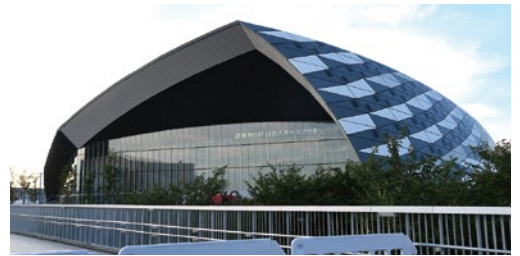
写真：共同通信社



写真：共同通信社



写真：共同通信社



写真：共同通信社

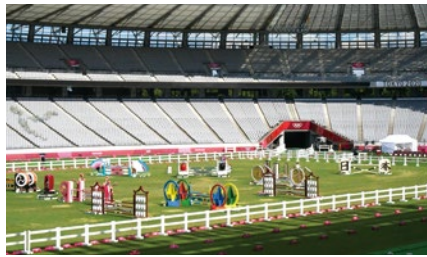


写真：共同通信社





写真：共同通信社



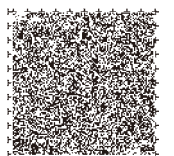
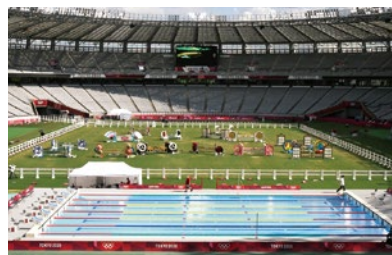
写真：共同通信社



写真：CTK/共同通信イメージス



写真：共同通信社



## 第1部 大会までの調布市のあゆみ

2013年に東京2020大会の開催が決定されました。その後、ラグビーワールドカップ2019™日本大会の開催が決定され、市においては、2年連続で世界最大級のスポーツイベントが開催されることとなりました。市は、2020年に向けた取組方針や、アクション&レガシープランを策定し、東京都や東京2020組織委員会をはじめ、多様な主体と連携しながら大会の開催に向けた準備はもとより、有形・無形のレガシー創出に向けた様々な取組を展開しました。

## 東京2020大会の開催決定

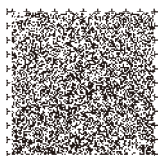
2013年9月7日、アルゼンチンのブエノスアイレスで開催されたIOC総会において、2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定しました。当時は、第

68回国民体育大会（通称：スポーツ祭東京2013）が開催される直前（開会式：2013年9月28日）でした。立候補時点（立候補ファイル）では、サッカーと近代五種が市内で開催される計画でしたが、2015年6

月のIOC理事会において、オリンピックの会場計画のうち未承認であった競技会場が新たに承認され、バドミントンと7人制ラグビーが市内の競技会場で開催されることになりました。

## ■東京2020大会開催決定までの流れ

日程	出来事
2013年	1月7日 東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会及び東京都が、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催計画の詳細を記載した立候補ファイルを国際オリンピック委員会（IOC）に提出
	9月7日 アルゼンチンのブエノスアイレスで開催されたIOC総会において、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定
2015年	6月8日 スイスで開催されたIOC理事会において、2020年東京オリンピックの会場計画のうち、未承認であった10競技のうち、バドミントン、7人制ラグビーなど8競技の会場についての会場計画が新たに承認 ●バドミントン：夢の島ユースプラザ（江東区）⇒ 武蔵野の森総合スポーツプラザ ●7人制ラグビー：新国立競技場（新宿区）⇒ 東京スタジアム（味の素スタジアム）
	9月28日 ラグビーワールドカップ2019の開催都市の一つである東京都の試合開催会場であった新国立競技場が使用できなくなったことに伴う変更により、試合開催会場の変更について、ラグビーワールドカップリミテッド及びワールドラグビーにて承認。 併せて、開会式・開幕戦が東京スタジアムにおいて開催決定 ●新国立競技場（新宿区）⇒ 東京スタジアム（味の素スタジアム）
	11月12日 メキシコシティで行われた国際パラリンピック委員会（IPC）理事会において、車いすバスケットボールを含む22競技中19競技の会場について承認 ●車いすバスケットボール ⇒ 武蔵野の森総合スポーツプラザ
	12月8日～10日 スイス・ローザンヌで開催されたIOC理事会において、組織委員会が自転車競技の会場変更を報告し承認 ●自転車ロードレース：スタート：皇居外苑（千代田区）変更なし ゴール：都立武蔵野の森公園 ⇒ 皇居外苑（千代田区）
	2018年2月3日 韓国・平昌で開催されたIOC理事会において、組織委員会が自転車競技の会場変更を報告し承認 ●自転車ロードレース：スタート：都立武蔵野の森公園 ゴール：富士スピードウェイ



また、2015年11月のIPC 理事会では、車いすバスケットボールが市内の武蔵野の森総合スポーツプラザで開催されることが承認されました。さらに2018年2月のIOC 理事会において、自転車競技（ロードレース）のコース変更が了承され、都立武蔵野の森公園をスタートし、富士スピードウェイでゴールすることが決定されました。こうして市内では、オリンピック5競技、パラリンピック1競技が開催されることになりました。

### ラグビーワールドカップの開催決定

ラグビーワールドカップ2019は、2009年に日本での開催が既に決定していましたが、2015年9月、大会の開催都市の一つである東京都の試合開催会場であった新国立競技場が使用できなくなったことに伴い、試合会場が調布市にある東京スタジアムで開催されることが決定しました。あわせて、開会式、開幕戦

についても同会場で開催され、市内で8試合が行われることになりました。

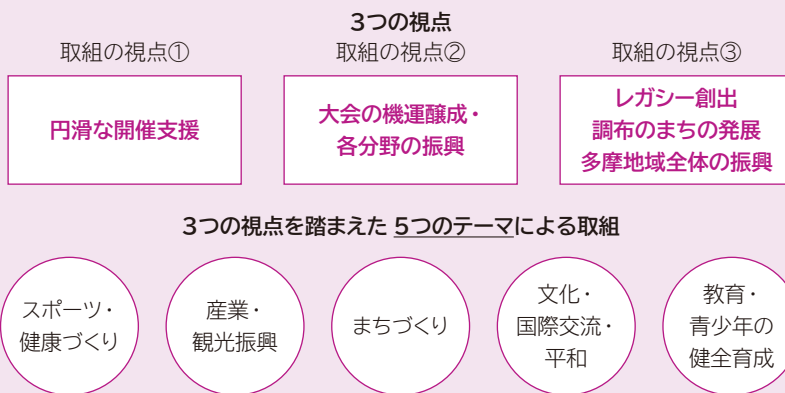
### 2020年に向けた調布市の取組方針

ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会と、世界最大級のスポーツイベントが2年連続で開催されることは、とりわけ次代を担う子どもたちにとって、スポーツの役割の重要性や平和の尊さを実感するとともに、明るい希望と夢を抱いて世界に目を開く絶好の機会となります。こうした背景のもと、2016年7月、「2020年に向けた調布市の取組方針（以下「取組方針」という。）」を策定しました。取組方針は、調布市基本計画や調布市まち・ひと・しごと総合戦略（以下「調布市総合戦略」という。）に位置付けたスポーツ振興をはじめ、産業・観光振興、文化振興、国際交流、平和施策、青少年の健全育成、教育、福祉の充実など様々な角度から市のまちづくりに多面的効果をもたらす取組を進めて

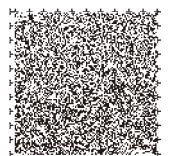
いくうえでの基本的な考え方を示したものです。大会を契機とした調布のまちの更なる発展と魅力向上、多摩地域全体の振興につなげていくよう、大会後のレガシーを見据えた取組の方向性を明らかにしました。



### ■ 2020年に向けた調布市の取組方針（2016年7月策定）



調布市アクション&レガシープラン



## アクション&レガシープランの策定

大会本番に向け、取組方針の具現化を図るため、「スポーツ・健康づくり」、「産業・観光振興」、「まちづくり」、「文化・国際交流・平和」、「教育・青少年の健全育成」の5つのテーマごとに、目指す方向や主な取組内容を示した「調布市アクション&レガシープラン」を策定しました。本プランに基づき、東京都や東京2020組織委員会、近隣市、関係団体など多様な主体と連携・協働した様々な角度からのアクションを推進することで、大会を契機とした有形・無形のレガシーを創出し、調布のまちの更なる発展と魅力向上、多摩地域全体の振興に向け、多岐にわた

る取組を展開しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止又は変更を余儀なくされた事業もありましたが、適宜、見直しを図りながら柔軟に対応し、各テーマごとの目指す方向を踏まえた取組を推進しました。

## オール調布での取組

行政と市議会、市内関係団体が一丸となり、「オール調布」の視点に立った取組を進められるよう、「調布市2019-2020プロジェクト全体会議」を2018年8月21日に設置し、大会関連情報等の共有を図ってきました。会議は、行政、議会、スポーツ、文化・国際交流、産業・観光、交通、



2019-2020プロジェクト全体会議

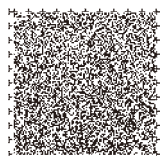
安全・安心、メディア、地域、社会福祉、教育など、各分野の関係団体等で構成されました。

また、庁内では、「調布市2019-2020プロジェクト推進本部」をはじめとした会議体を設置し、ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会に関する事項の協議、情報共有などを図り、庁内一丸となって取り組みました。

## ■全体会議

日程	回数	主な内容
2018年 10月1日	第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2019-2020年にに向けた調布市の取組について</li> <li>●国際大会における開催都市の役割について (京王観光株式会社 東京中央支店 支店長 原祥造 氏)</li> <li>●調布市応援アスリートの紹介</li> </ul>
2019年	2月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラグビーワールドカップ2019に向けて (公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長特別補佐 徳増浩司 氏)</li> <li>●大会本番に向けた調布市の取組について</li> </ul>
	5月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会に向けて</li> <li>●ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会に向けた安全・安心への取組 (調布警察署 署長 大澤真一 氏)</li> <li>●ゲスト挨拶(日本障がい者スポーツ協会*会長兼日本パラリンピック委員会会長 鳥原光憲 氏)</li> </ul>
	8月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会について</li> <li>●パネルディスカッション テーマ:ラグビーワールドカップ2019に向けた調布市での取組 ( 東芝ラグビー部採用・普及担当 望月雄太 氏 調布市ラグビーフットボール協会理事 瀧柳伸央 氏 市内飲食店 店長 金子巧 氏 )</li> </ul>
2020年 2月20日	第5回	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
2021年 7月13日	第6回	書面開催(市の取組等の状況に関する報告)
2022年 3月23日	第7回	書面開催(総括)

※2021年10月に「日本パラスポーツ協会」と名称変更



■ 2019-2020プロジェクト推進体制

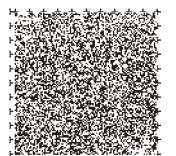


東京都市オリンピック・パラリンピック連絡協議会

東京2020大会に関して、情報共有を図るとともに、各市との連携、東京都などの関係機関との連絡調整を図ることを目的として、2015年11月25日に東京都市長会の附属

協議会として設立された協議会で、都内26市のオリンピック・パラリンピック担当部長で構成されました。また協議会の下部組織として、連絡調整担当課長会が設置されました。協議会及び連絡調整担当課長会では、各市との情報交換をはじめ、

東京都をはじめとする関係団体との情報共有、意見交換が行われました。



## 安全・安心な大会に向けた取組

### 東京都安全・安心推進会議

#### 各分科会への参画

東京都は、東京2020大会の安全・安心を確保するため、「東京2020大会に向けた東京都安全・安心推進会議」を設置し、市区町村、関係省庁、重要インフラ事業者の参画を得て官民一体となった取組を進めました。推進会議の下に設置された分科会では具体的な検討が進められ、競技会場が所在する調布市においても分科会のメンバーとして参画しました。分科会では、治安対策、サイバーセキュリティ、災害対策、感染症対策の各視点からリスクを洗い出し、各種事態を想定した対処要領が策定されました。また、様々な危機を想定した実践的な訓練も実施され、2019年7月4日には、大規模災害発生時の対応能力の向上と関係機関との連携強化を目的に、東京スタジアムで大規模テロ総合訓練が実施されました。こうした訓練を生かし、ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会では、調布消防署との連携のもと、調布市消防団による試合会場内の特別警戒が実施されました。

#### 調布警察署・調布消防署との連携

市民の安全・安心の確保に向け、調布警察署・調布消防署と定期的な情報交換会を実施し、大会関連情報の共有や意見交換などを行いました。

#### 都市オペレーションセンター

##### との連携

東京都は、大会運営に関する総合的な連絡調

整や競技会場周辺の対応などを行う都市オペレーションセンター（以下「COC」という。）を設置し、円滑な大会運営の支援をするとともに、都民生活や経済活動に与える影響の軽減を図りました。東京スタジアムなどの競技会場所所在市である調布市は、COCと連携して緊急時の連絡体制を構築し、安全・安心な大会の開催に向けた危機管理を推進しました。

#### 調布市医師会との連携

ラグビーワールドカップ2019に際しては、調布駅前広場において東京都によるファンゾーンが展開されることを踏まえ、調布市医師会と連携した救急医療体制の整備を行いました。また、東京2020大会に向けては、医師会との連絡会を通じて大会関連情報の共有を図りました。

#### 交通需要マネジメント（TDM）

##### 推進に向けた連携

東京2020大会時の安全・円滑な輸送サービスの提供と、都市活動や経済活動の安定との両立を図ることを目的に、東京都、内閣官房、東京2020組織委員会が事務局となり、大会時の交通混雑緩和を目指す「2020TDM推進プロジェクト」が推進されました。

調布市は、東京都と連携し、市関連部署等との大会関連情報の共有など、市発注工事の調整に向けた取組を進めました。また、市報やホームページ等を通じて、競技会場周辺の交通規制をお知らせし、期間中は規制エリアの通行を避けるなど、混雑緩和に向けた取組を推進しました。

大会時には、こうしたTDM等によって、交通量や人流の抑制が図られました。

## 自転車ロードレース

### コース決定経緯

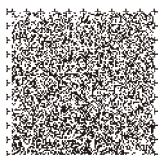
2018年2月のIOC理事会において、自転車競技（ロードレース）のコース変更が了承され、都立武蔵野の森公園をスタートし、富士スピードウェイでゴールすることが決定されました。2018年の8月には、東京2020組織委員会から東京2020オリンピックの自転車ロードレース（男子・女子）のコース決定の発表があり、都内では調布市を含む8市（府中市、調布市、三鷹市、小金井市、稲城市、多摩市、八王子市、町田市）を通過することになりました。

### 競技実施に向けた調整

自転車ロードレースは、4都県15市町村に及ぶコースであることから、円滑な実施に向けて東京都、コース通過自治体、警察機関、消防機関、道路機関等との意見交換を図ることを目的に「自転車ロード競技4都県合同連絡会」が設置されました。調布市は、通過自治体として、本連絡会等で交通規制などについて協議を重ね、競技実施に向けた準備を進めました。

### コースサポーター

自転車ロードレースの競技運営に当たっては、コース沿道の整理・案内、レース前後の資機材の設置・撤去などを行う「コースサポーター」をコース通過自治体が募り、大会運営を支えました。2019年7月に開催された東京2020テストイベント





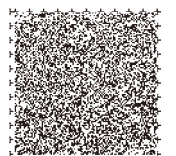
コミュニティライブサイトの中止と  
東京都へのライブサイト  
再検討の要望

市は、東京2020大会開催期間中において、市民が大会の感動と興奮を共有するとともに、国内外からの多くの来訪者に調布の魅力や文化を発信するため、パブリックビューイングや競技体験などを中心とした市主催のコミュニティライブサイトを調布駅前広場などで開催することを計画してきました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染状況に懸念が続く中、集客を図るイベントの開催については市民の間に感染のまん延に対する強い不安感が広がっていました。加えて、調布駅前広場には新型コロナワクチン接種のための集団接種会場が設営されたことにより、イベントの実施が会場運営に支障をきたすことを危惧する意見も見受けられる状況でした。

そのような状況を総合的に勘案した結果、コミュニティライブサイトの中止を決定し、代替としてオンラインイベントを開催しました。

東京都に対しては、パラリンピック期間中に調布駅前広場周辺において東京都が主催するパブリックビューイングについて、市民感情や市の決定を踏まえ、開催の是非、あるいは実施される場合の感染症対策に万全を期したうえでの規模の縮小等について検討するよう要望しました。



自転車ロードレースのコース（一部抜粋）



テストイベントで活動したコースサポーター

「READY STEADY TOKYO- 自転車競技（ロード）」では、調布北高校と調布南高校の生徒がコースサポーターとして運営に従事しました。東京2020オリンピック本番では、明大明治や晃華学園の生徒が従事する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言下での開催となったことで、高校生の従事を中止し、市職員がコースサポーターの役割を担いました。

ライブサイト

東京2020ライブサイト等  
基本計画の公表

2019年4月に東京都は「東京2020ライブサイト等基本計画」を公表しました。ライブサイト等とは、東京2020大会期間中、世界中から訪れる観戦客等が、競技チケットの有無にかかわらず、誰でもライブ中継を楽しみ、大会の感動と興奮を共有できるスペースで、東京都と組織委員会が共同で設置するものです。計画では、「都のパブリックビューイングを核とする盛り上げ会場」の多摩拠点会場として、パラリンピック期間中に調布駅前広場周辺でイベントが実施されることが示されました。

### 東京2020ライブサイト等の見直し

新型コロナウイルス感染症の影響により、東京都は、専門家の意見を踏まえて来場者数の削減、事前申込制の導入など、感染症対策を検討しました。一方で、大会時における人流が感染拡大につながる恐

れがあると専門家や関係者から指摘がありました。また、都内の緊急事態措置が解除され、まん延防止等重点措置が適用されることとなり、引き続き、感染拡大を防ぐ必要がありました。

さらに、2021年6月21日、IOC・

IPC・東京2020組織委員会・東京都・国の5者協議において、観客以外の人流対策として、ライブサイト及びパブリックビューイングについては中止又は規模縮小の方向で検討を行うことが合意されました。

こうした状況の中で、東京都はラ

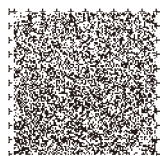
### ■東京2020ライブサイト会場一覧(2019年4月時点)

東京2020ライブサイト	区部拠点会場	都立代々木公園
	多摩拠点会場	都立井の頭恩賜公園
ターミナル駅周辺 東京2020ライブサイト		<ul style="list-style-type: none"> <li>●高輪ゲートウェイ駅前用地(東日本旅客鉄道株式会社との連携事業)</li> <li>●池袋西口公園</li> <li>●東京都庁舎</li> </ul>
都のパブリックビューイングを核とする盛り上げ会場	区部拠点会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●都立日比谷公園</li> <li>●都立上野恩賜公園</li> </ul>
	多摩拠点会場	(オリ) 首都大学東京(現 東京都立大学) 南大沢キャンパス周辺 (パラ) 調布駅前広場周辺
組織委員会が中心となって展開する盛り上げエリア		臨海部(青海・有明地区等)
被災地 東京2020ライブサイト		<ul style="list-style-type: none"> <li>●岩手県:(オリ)盛岡城跡公園 多目的広場 (パラ)JR 盛岡駅前 滝の広場</li> <li>●宮城県:勾当台公園</li> <li>●福島県:(オリ)鶴ヶ城公園 (パラ)アクアマリンパーク</li> <li>●熊本県:熊本城ホール</li> </ul>

出典:東京2020ライブサイト等基本計画(2019年4月)

### ■ライブサイトを巡る経緯

日程	出来事	
2021年	6月1日	都が代々木公園のライブサイトをワクチン接種会場へ転用することを発表
	6月4日	武蔵野市が井の頭恩賜公園でのライブサイト実施について都へ要望書を提出
		三鷹市が井の頭恩賜公園でのライブサイト実施について都へ要請書を提出
	6月7日	三鷹市が井の頭恩賜公園でのライブサイト実施について都へ追加要請書を提出
	6月9日	調布市がコミュニティライブサイトの中止を決定(プレスリリースの発信、都への要望書提出)
	6月21日	IOC・IPC・東京2020組織委員会・東京都・国の5者協議において、観客以外の人流対策として、ライブサイト及びパブリックビューイングについては中止又は規模縮小の方向で検討を行うことを合意
6月22日	<p>都がライブサイト等の実施方法について抜本の見直しを発表</p> <p><b>【主な内容】</b>                      代々木公園及び井の頭公園でのライブサイト、上野公園、日比谷公園、都立大南大沢キャンパス、調布駅前広場でのパブリックビューイングを核とした盛り上げ会場については、競技中継を中止とし、コンテンツのWEB配信に転換                      ※調布市グリーンホールは、ワクチン接種会場の転換の検討が公表された</p>	



イブサイト等の実施方法を抜本的に見直すことを決定しました。こうした見直しにより、集合型のライブサイト・パブリックビューイングは中止し、デジタル技術を活用した大会の盛り上げに転換すること、ワクチン接種を加速させるため、ライブサイト会場等の接種会場への転換を検討することなどが打ち出されました。調布駅前広場周辺で予定されていたパブリックビューイングも中止とされ、イベント会場として確保していた調布市グリーンホールは、ワクチン接種会場に転用されました。



ラグビーワールドカップ2019ファンゾーン in 東京(調布駅前広場)でのパブリックビューイングの様子



ラグビーワールドカップ2019開催時のラストマイル(スタジアム通り・飛田給駅北口の様子)

### 東京2020テストイベント

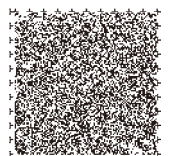
東京2020大会の成功に向けて、競技運営及び大会運営の能力を高めることを目的に行われました。市内の競技会場では、近代五種、バドミントン、自転車ロードレース、7人制ラグビーのテストイベントが実施されました。



自転車ロードレースのテストイベントの様子(東八道路)

#### ■市内で開催されたテストイベント

競技	イベント名	日程	会場	主催
自転車競技 (ロードレース)	READY STEADY TOKYO - 自転車競技(ロード)	2019年	7月21日 (スタート) 都立武蔵野の森公園 (フィニッシュ) 富士スピードウェイ	東京2020 組織委員会
バドミントン	ダイハツ・ヨネックス ジャパンオープン2019 バドミントン選手権大会		7月23日 ~ 28日 都立武蔵野の森総合スポーツプラザ	日本バドミントン 協会
近代五種	UIPM 2019 近代五種ワールドカップ ファイナル東京大会		6月27日 ~ 30日 味の素スタジアム西競技場 都立武蔵野の森総合スポーツプラザ	国際近代五種連合、 日本近代五種協会
7人制 ラグビー	アジアセブンズ インビテショナル2020	2020年	4月25・ 26日 味の素スタジアム	日本ラグビー フットボール協会
	→新型コロナウイルス感染症の影響により中止 代替として、2021年4月22日に、東京2020組織委員会と 日本ラグビーフットボール協会により、女子・男子セブンズ日本代表選手団による 無観客の公開試合を行い、運営上のテストを実施			



## ラグビーワールドカップ 2019™

### 日本大会

#### 大会の概要

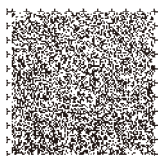
2019年9月20日から11月2日まで、ラグビーワールドカップ2019が開催されました。本大会はアジアで初、ラグビー伝統国以外で初、ラグビー7人制がオリンピック種目に採用されてから最初のワールドカップであり、20チームが参加し、45試合(当初予定48試合、台風19号の影響により3試合中止)が行われました。全試合の入場者数は計1,704,443人、全国のファンゾーンの来場者数は計1,137,000人に上りました。

市内の東京スタジアムにおいては、9月20日の開会式・開幕戦を皮切りに準々決勝2試合、3位決定戦を含む8試合が行われ、約38万人の観客が訪れました。また、調布駅周辺では東京都が主催するファンゾーンが開催され、16日間で延べ131,900人が訪れました。

市では、ラグビーワールドカップ、夏季オリンピック、夏季パラリンピックと世界最大級のスポーツイベントが2年連続で行われるという絶好の好機を生かすため、機運醸成を



ファンゾーン開催時の調布駅前の様子(2019年9月20日)



図るとともに、国内外から訪れる多くの来訪者へのおもてなしに向け、様々な準備を進めました。

#### 機運醸成に向けた取組

市民への周知・機運醸成として、市報・ホームページ・SNS等を活用した定期的な情報発信をはじめ、大会PRグッズの作製や機運醸成イベントの実施、大会マスコットキャラクターを活用した調布市オリジナルデザインによるバナーフラッグ、横断幕の設置や調布駅の階段装飾の実施、東京都やラグビーワールドカップ組織委員会、民間事業者と連携した競技会場周辺ラストマイル装飾や市内商店街へのバナーフラッグ掲示を実施するなど、広くPRに努めました。



東京スタジアム観戦ガイド



オリジナルバナーフラッグ

#### 競技会場周辺の取組(ハード)

競技会場周辺では飛田給駅踏切拡幅による安全対策、道路の遮熱性舗装やミスト設置による暑さ対策、バリアフリー化を含めた各種ハード整備を行いました。



飛田給駅前に設置したミスト

#### 来訪者へのおもてなしに向けた取組

Wi-Fi環境の整備や多言語版の観光マップ、飲食店マップ、英字版ホームページの開設、モバイルアプリを活用した多言語観光情報サイト「Guidoor(ガイドア)」の提供など、訪日外国人向けに広く情報提供を行ったほか、調布駅や飛田給駅を中心とした市民参加による花いっぱい運動の展開、市内事業者による調布オリジナルブランド焼酎やラグビー応援てぬぐいの製造・販売など、オール調布で来訪者をおもてなしする準備を進めました。

#### 競技会場周辺福祉関連施設

##### への対策

競技会場周辺は福祉関連施設が集積しており、大会開催に伴い、運営への影響が懸念されたことから、東京都や組織委員会と連携し、定期的な情報共有の場を設置するとともに、大会期間中の交通規制エリアに対し、福祉施設運営車両や利用者車両に通行許可証の発行を行うなど、施設運営への影響を最小限に抑える取組を行いました。

#### ファンゾーン・

##### スクラムフェスティバル

大会期間中には、調布駅前広場・グリーンホールを中心に東京都主催によるファンゾーンが行われました。

市では、その隣接イベントとして調布スクラムフェスティバルを開催し、市内外の様々な団体や調布市おもてなしボランティアと協力しながら、期間中を通じて、訪れる多くの方に調布ならではのおもてなしを行いました。

また、国内外からの多くの来訪者がファンゾーンやスクラムフェスティバルを訪れることから、市医師会と連携し、医療体制を整備して準備を行いました。

●ファンゾーン

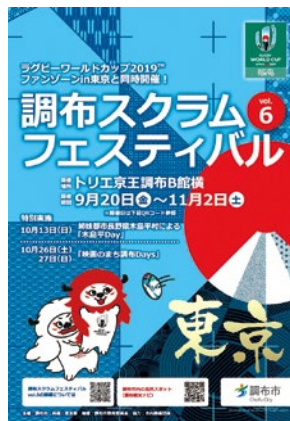
ファンゾーンとは、ラグビーワールドカップ2019期間中に開催都市に設置され、大型スクリーンによるパブリックビューイングや飲食の提供等、試合チケットの有無にかかわらず、無料で誰もが気軽に訪れることができる場です。

区内では、東京都主催により、多摩地域と区部の2か所に設置されました。区部は、有楽町の東京スポーツスクエアに、多摩地域は、調布駅前広場や調布市グリーンホール等に

設置され、調布では全16日間で延べ131,900人が来場しました。

●スクラムフェスティバル

ファンゾーン周辺において、調布市の魅力発信、まちの回遊性向上、訪日外国人や市内外の来街者との交流促進を目的に、おもてなしイベントを実施しました。イベントの一部では、ファンゾーンで行われた日本文化を発信する東京都の取組と連



調和SHC倶楽部によるよさこいの様子

携し、「映画のまち調布 Days」と称した調布ならではのおもてなしの演出を図りました。



「映画のまち調布 Days」時の会場入口の様子



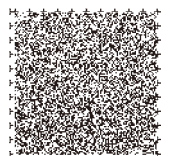
チャンバラ体験の集合写真の様子



ファンゾーンに設置された大会マスコット「レンジャー」

■スクラムフェスティバル概要

イベント名	調布スクラムフェスティバル Vol.6
主催	調布市（後援：調布市教育委員会）
共催	東京都
開催日程	2019年9月20日～11月2日のうち13日間 ※台風19号の影響により、10月12・13日は中止
開催場所	トリエ京王調布 B館南北道路
主な内容	○体験ゾーン 和文化体験、昔遊び体験、スポーツ体験、「映画のまち調布 Days」、ホストタウン PR など ○展示ゾーン おもてなし、魅力発信ブース、国際交流ブース、平和事業 PR など ○飲食ゾーン
来場者数	168,050人 ※12～18時の調布駅前広場からイベントエリアへの流入人数
出展団体（体験・展示・飲食）	26団体



## ホストシティパフォーマンス

東京都・組織委員会と連携し、東京スタジアムの地元3市の地域の魅力発信として、開幕戦を除く東京スタジアムにおける試合開催前に約20分間、地元の伝統芸能を披露する場を設けました。調布市からは、10月19日・20日の準々決勝前に調布よさこい実行委員会によるよさこい、和太鼓集団風聚による和太鼓演奏がそれぞれ行われました。



調布よさこい実行委員会



和太鼓集団 風聚

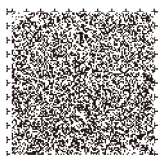
## 調布市おもてなしボランティア

### 東京2020大会のボランティア

東京2020大会では、組織委員会が運営主体となり、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポートを行う「大会ボランティア」と、東京都が運営主体となり、国内外の旅行者に対する観光・交通案内及び競技会場の最寄駅周辺における観客の案内を行う「都市ボランティア」がありました。

### 調布市独自ボランティアの募集

東京都や組織委員会が運営主体となるボランティアとは別に、市独自の「調布



## ■大会ボランティア・都市ボランティアの概要

	フィールドキャスト (大会ボランティア)	シティキャスト (都市ボランティア)
運営主体	組織委員会	東京都*
活動場所	競技会場、選手村などの大会関係施設	空港、主要駅、観光地及び競技会場の最寄駅周辺
活動内容	観客サービス、競技運営のサポート、メディアのサポートなど	国内外の旅行者に対する観光・交通案内及び競技会場の最寄駅周辺における観客の案内
募集人数	80,000人	30,000人

※シティキャストについては、競技会場を有する都外自治体それぞれにおいても、運営を行った

## ■調布市おもてなしボランティア募集概要

募集期間	2019年1月21日～3月29日
募集人数	200人程度
活動場所	原則、調布市内 (例) 調布駅前をはじめとした京王線各駅周辺、市内観光スポット、市主催イベント、コミュニティライブサイト会場など
活動内容	交通・観光案内など、国内外からのゲストに対するおもてなし全般 コミュニティライブサイト等、市主催イベントの運営補助 (注) 調布駅前のラグビーワールドカップ2019ファンゾーン周辺においても活動
活動日数	大会期間を通じて3日以上、1日3時間から5時間程度(休憩含む)
主な応募資格	市内在住又は在勤・在学の方 2002年4月1日以前に生まれた方

市おもてなしボランティア」を募集しました。当該ボランティアは、都や組織委員会のボランティアよりも活動要件のハードルを下げ、より多くの市民に東京2020大会へ関わることができる機会を創出するとともに、都市ボランティアが配置されないエリアや市独自の大会関連イベントでの配置を想定し、市のおもてなしの充実を目指しました。

募集は2019年1月から3月まで



■研修会等のまとめ

項目	日程	内容	参加者数
任意研修	2019年 4月6日	おもてなしボランティアの概要及び今後の流れ、講演 (講師:2012年ロンドンオリンピック水泳銅メダリスト 立石諒氏 日本スポーツボランティアネットワーク 但野秀信氏)	約200人
全体説明会	6月2日、4日、6日	ラグビーワールドカップ2019に係る ボランティア活動・シフト調整の流れ等	333人
第1チーム (全5回)	7月20日、27日 8月7日、23日	「ボランティアの心得～おもてなしを楽しもう～」 (講師協力:日本スポーツボランティアネットワーク) ※7月20日は午前・午後の2回実施	297人
第2チーム (全5回)	11月16日 12月3日、7日、12日	「調布の魅力～心に残るおもてなしに向けて～」 (講師協力:ちょうふこどもネット) ※11月16日は午前・午後の2回実施	221人
第3チーム (全4回)	2020年 1月18日、29日 2月13日	「おもてなし英語の基礎～入門編～」 (講師協力:Global 調布! 村上むつこ氏) ※1月18日は午前・午後の2回実施	137人

※第3チーム最終回の2月22日は、新型コロナウイルスの影響に伴い中止

※2020年3月に開催を予定していた第4チーム(おもてなし英語の基礎～応用編～)の研修は、新型コロナウイルスの影響に伴い中止。2020年5月及び6月に開催を予定していた第5チーム(障害理解)は、新型コロナウイルスの影響に伴い、新たに制作した研修用映像による在宅研修に変更

行い、延べ396人(2019年4月1日時点)から応募がありました。

**ボランティアの育成**

東京2020大会を見据え、市主催イベントでの活動や、研修会の実施など、ボランティアの育成に向けた取組を進めました。市主催イベントでは、延べ13事業、延べ活動者125人がボランティアとして参加しました。また、定期的に研修を実施し、ボランティアに必要な素養を磨く機会を創出しました。コロナ禍により、計画していた研修全てを実施することはできませんでしたが、オンラインによる研修に転換し、対応しました。オンライン研修では、障害理解に資する内容の動画を作成し、大会後も、共生社会の充実に向けた取組へ転用できるよう汎用性の高いものとししました。

**ラグビーワールドカップ2019**

**期間中の活動**

ラグビーワールドカップ2019期間中には、調布駅前広場のファンゾーン周辺で開催した調布スクラムフェスティバルの運営、調布駅・飛田給駅に設置したブースでの交通・観光案内、市広報課による外国人インタビューの通訳補助など、大会を契機とした様々な場面で活動しました。また、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会との連携のもと、東京スタジアムの入場ゲート付近に

において、来場者に対して観戦後の席周りのごみ拾いの協力を呼び掛けながら、来場者へオリジナルのごみ袋を配布する東京スタジアム周辺美化活動(KEEP THE STADIUM CLEAN)に参画しました。



大会時の通訳ボランティア



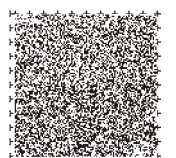
研修(第1チーム)の様子



研修(第2チーム)の様子



研修(第3チーム)の様子





ラグビーワールドカップ2019  
期間中の観光案内ボランティア  
(調布駅構内)

■おもてなしボランティアの活動実績(ラグビーワールドカップ期間中)

ラグビーワールドカップ期間中の活動者数(実数)	299人
延べ従事者数	494人(1日平均約33人)



オンライン研修動画

日本スポーツボランティア  
ネットワーク(JSVN)との連携

JSVNIは、全国で活動するスポーツボランティア団体間のネットワークを構築し、ボランティアに関する情報の共有や協働事業を推進する特定非営利活動法人です。おもてなしボランティアの育成や円滑な運営、レガシーの検討に向けて連携し、研修講師の派遣や、他のボランティア団体との情報交換などを行いました。

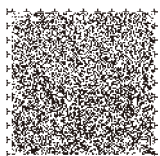


JSVN 講師による研修会の様子

コロナ禍の活動と大会本番での対応

コロナ禍により、予定していた集合型研修を中止とし、オンラインによる研修へ転換しました。また、メインで活動を予定していた市主催のコミュニ

ティライブサイトが中止となり、市内競技会場でも無観客での開催が



決定したため、東京2020大会に係る全ての活動が中止となりました。

大会後のレガシー

東京2020大会本番での活動は中止となりましたが、ラグビーワールドカップ2019等での活動の経験を生かし、大会後も地域のボランティア文化を支える担い手として活動いただけるよう、市内の様々なボランティア活動をご紹介します。「調布市ボランティア説明会～2020のその先へ～」を開催しました。説明会では、スポーツ、国際交流、アートをはじめ、地域の様々なボランティア活動について紹介するとともに、(一社)東京都つながり創生財団と連携し、東京2020大会でボランティア等に携わった人のプラットフォームとな

る「東京ボランティアレガシーネットワーク」をご案内することで、地域でのボランティア活動の継続に向けた支援を行いました。



■調布市ボランティア説明会～2020のその先へ～

開催日程	2021年12月23日(木) 2022年1月15日(土)
協力団体	調布市体育協会 調布市国際交流協会、市民活動支援センター 調布市文化・コミュニティ振興財団 東京都つながり創生財団



新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、多くの事業が中止又は計画変更を余儀なくされました。

調布市立小・中学校における  
学校連携観戦プログラム

「学校連携観戦プログラム」とは、自治体や学校単位でチケットを購入し、次世代を担う若者に、より多く会場にきてもらうことを目的とした組織委員会の事業です。関係自治体・被災地などの小中高生を中心に、学校と連携した1,000,000人以上の規模のオリンピック・パラリンピック観戦プログラムでした。東京都については、観戦を希望する都内の全公立・私立学校を対象に、調整が進められてきました。なお、観戦チケットに係る費用は、都が公費により負担する予定でした。

市では、東京スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザでの観戦を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染リスクや熱中症のリスクなど、対策を講じてもお児童・生徒の安全・安心を十分に確保できる状況にはないことから、観戦は困難であると判断し、2021年7月6日、観戦中止を決定しました。

東京2020大会調布市民観戦事業

「東京2020大会調布市民観戦事業」とは、市内で開催される東京2020大会の6競技を中心に、市民に大会を観戦する機会を提供するとともに、市内で開催される大会の感動や記憶を後世に継承していくことを目的に準備を進めてきました。本事業は、調布市内在住者を対象に、東京2020大会の観戦チケット

新型コロナウイルス感染症の影響で中止・変更となった主な取組

- オリンピック・パラリンピック聖火リレー公道走行 → 点火セレモニーへ変更
- コミュニティライブサイト（市主催） → オンラインイベントへ変更
- ライブサイト（都主催）
- 調布市立小・中学校における学校連携観戦プログラム
- 東京2020大会調布市民観戦事業
- 調布市おもてなしボランティアによる活動
- オリンピック講演会
- 東京2020大会カウントダウンイベント
- 調布市2019-2020プロジェクト全体会議（第5回を中止）
- 東京五輪音頭-2020-普及啓発事業



東京2020大会のチケット

を有償譲渡し（申込多数の場合は抽選）、申込条件の一つとして、競技を観戦した感想や競技会場の雰囲気、市内の様子など、記録集を作成するためのアンケートへのご協力をお願いする内容でした。本事業の対象チケットは約900枚で、市内開催競技であるバドミントン、サッカー、近代五種、7人制ラグビー、車いすバスケットボール等でした。

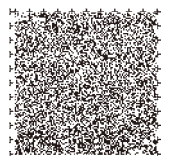
しかしながら、政府による緊急事態宣言の発出や、無観客開催の決定などにより、本事業のチケットは無効となり、事業は全て中止となりました。

コロナ禍での大会開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、政府による緊急事態宣言が発出されるなか、東京2020大会は開催されました。大会では、市内の競技会場を含む多くの競技会場で無観客での開催となりました。ま



た、感染拡大防止や人流の抑制等の観点から、コミュニティライブサイトなどのイベントは中止となりましたが、代替としてオンラインイベントの開催や、SNSやホームページなどウェブ上での取組を推進しました。



## 第2部 機運醸成

東京2020大会へ向けた機運醸成を図るため、東京開催決定後、カウントダウンイベントをはじめとした各種イベント、シティドレッシング、PRグッズの展開、多様な主体と連携した取組など、様々な取組を展開してきました。

## カウントダウンに係る取組

大会に向け、様々なカウントダウンに係る取組を実施しました。

## カウントダウンボード等の設置

2016年、市庁舎2階エントランスにカウントダウンボードを設置し、市



市役所2階に設置したカウントダウンボード

をあげてカウントダウンを実施しました。その他、調布駅構内にもカウントダウンパネルを設置しました。また、ホームページでもカウントダウンを実施しました。



調布駅構内に設置したカウントダウンボード

## 大会開催の節目を捉えたイベント等の実施

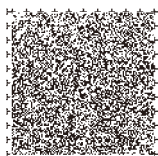
大会開催の4年前を皮切りに、節目となるタイミングでイベント等を実施しました。

東京2020大会開催  
カウントダウン

東京2020大会100日前を皮切りに、市ゆかりのスポーツ選手や障害者施設通所者、市内学童クラブなど、市内の様々な方にご協力をいただきカウントダウンを行いました。カウントダウンは全49弾にわたり、ホームページやSNSに掲載しました。

## ■カウントダウン取組一覧

日程	イベント名	場所
2016年 7月24日	4年前イベント「東京2020オリンピック・パラリンピックまであと4年!!」	調布駅地下通路・調布駅前広場
2017年 7月24日	3年前イベント「調布サマーフェスティバル2017」	多摩川河川敷
2018年 7月24日	2年前イベント「調布サマーフェスティバル2018」	東京オーヴァル京王閣
2019年 7月24日	1年前イベント「調布サマーフェスティバル2019」	東京オーヴァル京王閣
2020年 9月24日～ 10月30日	市庁舎パネル展示 ～東京2020大会に向けた300日前イベント～	市役所 2階エントランス
2021年 1月4日～ 2月5日	東京2020大会200日前に関する取組 (200 Days to Go!)	市役所 2階エントランス、 文化会館たづくり 1階エントランス
2021年 4月14日～ 5月16日	東京2020大会100日前に関する取組 (100 Days to Go!)	市役所 2階エントランス、 文化会館たづくり 1階エントランス ほか
2021年 6月3日～ 7月5日	東京2020大会50日前に関する取組 (50 Days to Go!)	市役所 2階エントランス ほか



## カウントダウンの取組（一部抜粋）



深大寺児童館学童クラブ



布田小学校学童クラブ



西部児童館学童クラブ



調布ヶ丘児童館学童クラブ



緑ヶ丘児童館学童クラブ



なないろ学童クラブ



ゆずのき学童クラブ



ふじみだい学童クラブ

## 機運醸成に向けた取組

東京2020大会やラグビーワールドカップ2019へ向けた機運醸成を図るため、様々な取組を実施しました。



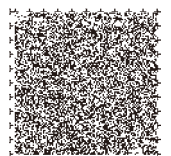
ラグビーワールドカップ2019開催2年前イベント



まちなかラグビーの様子

## ■ラグビー関連の主な取組

日程	イベント名	場所	
2016年	6月25日	日本代表対スコットランド代表戦 ラグビーフェスティバル 2016 & TOKYO	味の素スタジアム、アジパンダ広場、 アミノバイタルフィールド
	12月18日	調布市小学生タグラグビー大会	日本郵船飛田給体育館
2017年	6月18日	調布まちなかラグビー	
	6月24日	東京ラグビーファンゾーン 2017 日本代表対アイルランド代表戦	
	8月27日	第2回調布まちなかラグビー	
	9月20日	ラグビーワールドカップ 2019開催2年前イベント	たづくり大会議場
	10月9日	調布市小学生タグラグビー大会	調布市民西町サッカー場
2018年	6月17日	秩父宮みなとラグビー祭り2018への出展	秩父宮ラグビー場スタジアム通り
	6月23日	ラグビーパブリックビューイング in TOKYO 日本代表対ジョージア代表	シアタス調布、調布駅前広場
	9月24日	調布スクラムフェスティバル Vol.2 (ラグビーワールドカップ 2019開催1年前イベント)	調布駅前広場
2019年	11月3日	調布スクラムフェスティバル Vol.3 パブリックビューイング 日本代表対ニュージーランド代表	調布駅前広場
	1月19日	ラグビーワールドカップ 2019 ニューイヤーイベント 東京ラグビーキャラバン	調布駅前広場
	6月1日	秩父宮みなとラグビーまつり2019への出展	秩父宮ラグビー場スタジアム通り
	6月15日	調布スクラムフェスティバル Vol.4 (ラグビーワールドカップ 2019 100日前イベント)	雨天中止
	8月3日	リポビタンDチャレンジカップ 2019 パブリックビューイング 日本代表対トンガ代表戦	調布駅前広場
	9月1日	調布スクラムフェスティバル Vol.5	調布駅前広場
	9月6日	リポビタンDチャレンジカップ 2019 パブリックビューイング 日本代表対南アフリカ代表戦	調布駅前広場
	9月20日～ 11月2日	ファンゾーン in 東京	調布駅前広場、 グリーンホール等
	9月20日～ 11月2日のうち 15日間	調布スクラムフェスティバル Vol.6	トリエ京王調布B館 南北道路
	10月26日	調布市小学生タグラグビー大会	調布市民西町サッカー場



## ■東京2020大会関連の主な取組

日程		イベント名	場所
2016年	7月24日	東京2020オリンピック・パラリンピックまであと4年!! イベント	調布駅地下通路・調布駅前広場
	8月6日～22日 9月7日～18日	COOL SHARE 調布 2016	市内公共施設等
	8月11日・13日 9月10日・11日	東京2020ライブサイト in 2016 ～リオから東京へ～への出展	国営昭和記念公園
	10月10日	調布市民スポーツまつり	味の素スタジアム
2017年	4月15日	東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー	味の素スタジアム パデストリアンデッキなど
	7月24日	調布サマーフェスティバル 2017	多摩川河川敷
	8月18日～24日	東京1964 オリンピックの資料展	文化会館たづくり 北ギャラリー
	8月20日	オリンピック・パラリンピック伝道講座 in 調布	教育会館
	9月28日	東京2020公認プログラム「栄光のランナー 1936ベルリン」特別上映会	トリエ京王調布 C 館 イオンシネマ シアタス調布
	11月11日 ・12日	フェンシングワールドカップ東京大会高円宮杯選手権大会 無料招待事業	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
2017年 2018年	11月22日～ 2月22日	東京2020マスコットキャラクターへの市内小学生 (20校359クラス)の投票	各市立小学校
2018年	1月7日	調布市小・中学生陸上体験教室	味の素スタジアム 西競技場
	1月25日～2月1日	CHOFU ARTBRUT 調布障害者アート展	文化会館たづくり 北ギャラリー
	2月3日～3月21日	ボクらのブリック! (レゴ展示)	文化会館たづくり 1階展示室
	2月10日	調布市パラスポーツ体験会	調布市総合体育館
	2月17日	調布市小学生ドッジビー大会	武蔵野の森総合スポーツプラザ メインアリーナ
	2月28日～3月7日	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する パネル展示	東部公民館
	3月6日	三菱電機 Going Up キャンペーン全国キャラバン in 杉森小学校	調布市立杉森小学校
	3月17日	にれの木広場 TOKYOスプリング・フェスタへの出展	都立日比谷公園 にれの木広場
	3月28日	「外国人おもてなし語学ボランティア」フォローアップセミナー	文化会館たづくり 大会議場
	4月1日	武蔵野の森総合スポーツプラザ等施設見学会	武蔵野の森総合スポーツプラザ等
	4月27日～30日	FINA アーティスティックスイミングワールドシリーズ 2018 東京大会無料招待事業	東京辰巳国際水泳場
	6月19日	2018FIFA ワールドカップロシア パブリックビューイング	調布市グリーンホール 大ホール
	7月16日	東京2020公認プログラム 「世界の国旗・国歌」学ぼう!聴こう!歌おう!@調布	文化会館たづくり くすのきホール
	9月29日	ヒューリック・ダイハツJAPANパラバドミントン国際大会2018 観戦企画 ～山崎悠麻選手を応援しよう!～	町田市立総合体育館
	12月15日	調布市障害者地域自立支援協議会講演会	多摩障害者スポーツセンター

日程	イベント名	場所	
2019年	2月23日	調布市小学生ドッジビー大会	調布市総合体育館
	3月3日～5日	第5回調和 SHC フェスター パラスポーツを体験しよう！	市民大町スポーツ施設
	3月9日	調布市障害者スポーツ体験会	多摩障害者スポーツセンター
	5月26日	調布市民スポーツまつり	味の素スタジアム
	7月9日	スポーツ義足体験授業	第三小学校
	11月24日	障がいのある人もない人もみんなで楽しもう！交流会	調布市立調和小学校アリーナ (体育館)
	12月4日～11日	パラアート展2019 CHOFU-fufu 楽園	調布市文化会館たづくり 南ギャラリーのほか市内7か所
	12月6日	「東京2020算数ドリル」実践学習会(サッカー)	石原小学校
	12月8日	調布市障害者スポーツ体験会	武蔵野の森総合スポーツプラザ サブアリーナ
2020年	1月30日	FC東京×ブラインドサッカー® 講演会	文化会館たづくり 大会議場
	2月14日	調布でおもてなし講座 ～「やさしい日本語」の今とこれから～	文化会館たづくり 映像シアター
	6月27日～9月13日	企画展「1964年東京オリンピックを振り返る ～収蔵品を中心に～」	郷土博物館
	11月10日	ホストタウン フレーム切手贈呈式	グリーンホール 小ホール
2021年	6月22日	東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ展示	市役所 前庭
	7月6日～9月20日	企画展「調布にオリンピックがやって来た!～1964年あの頃～」	郷土博物館
	7月11日	1964年聖火ランナーによるゲストイベント ～トークイベント&トーチリレー体験～	文化会館たづくり 大会議場
	8月25日～9月30日	東京2020パラリンピック競技大会 報道写真展	市役所 2階総合案内前
	10月1日～14日	東京2020パラリンピック競技大会 報道写真展	文化会館たづくり 1階エントランス
2016年8月23日 ～2021年9月5日	オリンピック・パラリンピックの展示コーナー設置 ※常設展示、内容に適宜入替	調布市立図書館	



東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー



調布サマーフェスティバル 2018



「世界の国旗・国歌」学ぼう!聴こう!歌おう@調布



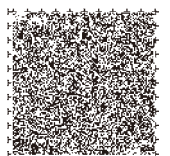
「東京2020算数ドリル」実践学習会



ホストタウン フレーム切手贈呈式



東京2020オリンピック・パラリンピック  
聖火リレートーチ展示



## シティドレッシング

東京2020大会の機運醸成を目的として、東京都及び東京2020組織委員会は、観客利用想定駅（飛田給駅・西調布駅・調布駅）から競技会場周辺、商店街などに大会ルックを用いた街路灯バナーフラッグ等で装飾を行いました。また、市独自の取組として、調布駅前広場、仙川駅周辺などに街路灯バナーフラッグの設置や、市庁舎エレベーター扉などに装飾を施しました。



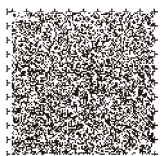
飛田給駅の装飾の様子



街路灯バナーフラッグ



市庁舎エレベーター装飾



## 東京五輪音頭-2020-の普及啓発

東京2020組織委員会は、東京2020大会に向けた機運醸成を図るため、1964年に流行した「東京五輪音頭」をリメイクして「東京五輪音頭-2020-」を制作しました。「東京五輪音頭-2020-」には、「パラリンピック」の要素が加えられ、すべての人がスポーツを楽しむことができる世界を表現しています。市では、東京2020大会の機運醸成を図るため、地域のお祭りや市のイベント等、市内全域での取組を展開しました。また、調布市オリジナルにリメイクした「東京五輪音頭-2020- 調布バージョン」の動画を調布市文化協会等と連携して制作し、市ホームページや調布市動画ライブラリーなどで展開しました。



調布サマーフェスティバル 2019



地域練習会



「東京五輪音頭-2020- 調布バージョン」

### 東京五輪音頭-2020- に関する取組

主な取組	概要
CD・DVD等音源の貸出	東京五輪音頭-2020-のCD・DVDの貸出を行うもの
踊り方指導講師の派遣	希望する自治体や団体等へ踊り方指導員を派遣（協力：東京都民踊連盟）
キャラバン隊の派遣	ゆりーと <sup>※</sup> など、地域のお祭りを盛り上げるキャラバン隊を派遣するもの（協力：ちょうふ子どもネット）
地域練習会の開催	地域福祉センターを中心に東京五輪音頭-2020-の練習会を開催（協力：調布市文化協会、調布市民謡舞踊好友会）
イベントでの展開	調布サマーフェスティバルにて東京五輪音頭-2020- 盆踊りを実施（協力：調布市文化協会、調布市民謡舞踊好友会）
オリジナルリメイク版の展開	東京五輪音頭-2020- 調布バージョンを制作し展開（協力：調布市文化協会など）

※「ゆりーと」は、スポーツ祭東京2013を応援するために誕生したキャラクター。都民の鳥「ゆりかもめ」をモチーフにしている。現在は東京都のスポーツ推進大使として活躍しています

国際スポーツ大会を通じて、芸術・文化の振興に取り組まれた  
調布市文化協会の近況活動を加藤会長に伺いました。

調布市文化協会 会長  
加藤 弘子 さん



**Q** 「ラグビーワールドカップ2019」「東京2020オリンピック競技大会」で取り組んできた内容をお聞かせください。

「ラグビーワールドカップ2019」では、大会期間中に調布駅周辺で行われた『調布スクラムフェスティバル』に和 문화体験のワークショップなどを出展し、海外から多くのお客さまにいけ花や書道の体験をしていただきました。

また、「東京2020オリンピック競技大会」に向けて、市民一丸となって盛り上げていくため、市内各所での五輪音頭の地域練習会を実施しました。2019年夏に開催されたサマーフェスティバルでは、みんなで大きな輪をつくり五輪音頭を踊り、その後五輪音頭の普及啓発のため、五輪音頭のミュージックビデオ調布バージョンの作成もしました。

**Q** その取組を通じて感じたことはありますか。

「ラグビーワールドカップ2019」のイベントでは、調布駅前広場に未だかつてないほどの多くの人が集まり、すごい熱気でした。その中で、海外の方も含め初めて調布市を訪れた人たちに和 문화体験に参加してもらい、日本の文化・芸術に触れていただくことができ、とても良い体験ができました。この経験を踏まえ、調布市文化協会の活動を通じて、今後多くの方に日本の文化に触れていただきたいという思いが強くなりました。

五輪音頭のミュージックビデオ調布バージョンを作る中では、深大寺の関係者や留学に来ている海外の学生さんなど多くの方と交流ができ、とても楽しい思い出になりました。完成した動画についても、東京から離れたところにいる友人からも「調布市はすごいわね～」といったお褒めの言葉をいただきました。「東京2020オリンピック競技大会」開催時に、新型コロナウイルス感染症の影響で五輪音頭を踊る機会がなかつ

たことは残念でしたが、また今後みんなで踊れる機会があればぜひ踊りたいと思っています。

**Q** コロナ禍で活動の制約も多いかと思いますが、現在の活動と工夫している点はありますか。また、今後の取組についてもお聞かせください。

令和2年度『調布市民文化祭』では、はじめて展示や発表などの動画配信を行いました。近隣市区主催の文化祭の多くが中止となる中、先駆的な事例となり、高齢者や障害者、遠方者など、ふだん文化祭を見たことのない方にも楽しんでもらえる機会となりました。

また、コロナ禍では五輪音頭の練習会を開催することもなかなかできませんでした。集まる場所がなかったときには、五輪音頭のDVDをお渡しし、自宅で練習しながら五輪音頭を完成させました。

こうした中でも活動はできると確信しましたので、調布市文化協会としては、調布市民の皆さんに芸術・文化に触れていただく機会を今まで以上に創出し、行政との相互理解をさらに深め、今後も文化・芸術の振興を絶やすことなく、努力していきたいと思っています。

**Q** 最後に「ラグビーワールドカップ2019」「東京2020オリンピック競技大会」を通じて、調布市文化協会のレガシーについてお聞かせください。

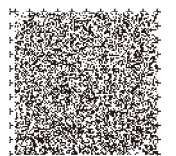
新型コロナウイルス感染症の影響により、思うように発表や交流の機会を設けることができないこともありましたが、調布市や調布市文化・コミュニティ振興財団とも連携しながら五輪音頭や文化祭を行い、市民の皆さんに、より身近に文化・芸術を感じてもらえたのではないかと思います。

さらに「ラグビーワールドカップ2019」では、海外からの多くのお客さまと交流することができ、調布市文化協会として新たな経験をさせていただきました。今回2つの国際スポーツ大会を通じて、行政・関係団体と連携し、市民の皆さんの協力もいただきながら文化を通じてにぎわいの一端を担えたと思います。これからも調布市の文化の発展に寄与するため、未来へと向かい努めていきたいです。

調布市文化協会とは

調布市の芸術・文化を振興し、市民への芸術・文化の普及・啓蒙を行っている。また、調布市民文化祭の企画・運営、姉妹都市交流、生涯学習推進事業、ボランティアなど幅広く活動している。

【公式ホームページ】 <https://www.chofushibunkakyokai.jp/index.html>



## 東京2020公認プログラム

東京2020組織委員会は、東京2020大会を一過性のイベントとするのではなく、できるだけ多くの人が参画し、あらゆる分野で東京2020大会がきっかけとなって社会が変わったと言われるような大会を目指しました。そのために、様々な組織・団体がオリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら、東京2020大会に向けた参画（エンゲージメント）、機運醸成及び大会後のレガシー創出に向けたイベント・事業等（以下「アクション」という。）が実施できる仕組みとして「東京2020公認プログラム」を推進しました。調布市は、こうしたプログラムを活用し、2017年から大会終了まで78件のアクションを実施しました。

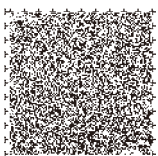
## 東京2020テストイベントと連携した取組

### 近代五種（UIPM2019近代五種ワールドカップファイナル東京大会）

調布市体育協会や調和SHC倶楽部と連携し、大会のオープニングセレモニー、大会期間中のパフォーマンスへの協力、姉妹都市長野県木島平村や近隣福祉施設による観戦の支援を行いました。



オープニングセレモニーでのパフォーマンス



## 自転車ロードレース

### （READY STEADY TOKYO

#### - 自転車競技（ロード））

交通規制の周知協力、市内高校生を中心としたコースサポーターの配置、スタート会場における競技本部での競技運営の従事など、東京2020組織委員会と連携した取組を行いました。

### バドミントン（ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン 2019）

広報・運営面の協力や、市民招待事業の実施、木島平村民観戦ツアーへの協力などを行いました。

## 情報発信（ホームページ、SNS）

調布市公式ホームページ内に「調布市オリンピック・パラリンピックに向けた取組」の特設ページを開設し、大会関連情報の発信を行いました。また、2019年9月には、ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会へ向けた取組の発信強化や、即時性のある情報発信へ向け、調布市公式アカウントとは別に、オリンピック・パラリンピック担当独自のTwitterのアカウントを取得し、運用を開始しました。当アカウントは、ラグビーワールドカップ2019期間中に100以上のツイートをを行い、合計約52万のインプレッションを獲得するなど、情報発信の強化につながりました。また、東京2020大会に向けても継続的な情報発信を行いました。



Twitterアカウント

## 大会に向けたPR

大会へ向けた機運醸成を図るため、様々なオリジナルグッズ等を作成し、イベント等での配布など、大



調布市ガイドブック



オリジナル婚姻届



主なオリジナルグッズ等一覧

東京2020大会関連

- リーフレット  
「2020 STEP FORWARD  
2020年に向けた調布市の  
取組」
- オリジナルクリアファイル
- オリジナルポケットティッシュ
- オリジナルウェットティッシュ
- オリジナル車両用マグネット
- オリジナル婚姻届
- オリジナル封筒
- 調布市ガイドブック
- オリジナルうちわ
- オリジナル名刺
- オリジナルホストタウンPR用  
横断幕
- オリジナルホストタウンPR用  
のぼり旗
- インタビューボード
- ラガマルくんの  
ラグビーセブンズガイドブック
- オリジナルポロシャツ、  
ウィンドブレーカー

ラグビーワールドカップ2019関連

- リーフレット  
「2019 STEP FORWARD  
2019年に向けた調布市の  
取組」
- オリジナル紙袋
- オリジナル封筒
- オリジナルポロシャツ、  
ウィンドブレーカー
- オリジナルリーフレット  
「東京スタジアム観戦ガイド」
- ラガマルくんの  
ラグビールールブック
- インタビューボード

会に向けたPRを展開しました。

多様な主体との連携

東京都市町村ポッチャ大会

パラリンピックが多摩地域で開催されることを契機として、東京都市オリンピック・パラリンピック連絡協議会の中で提案された、都内市町村による広域連携事業です。第1回大会が2019年2月に武蔵野市立武蔵野総合体育館で開催され、29自治体57チーム、延べ236人が参加しました。2020・2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、パラリンピックのレガ

シーとして、障害者スポーツも含めたインクルーシブスポーツの普及を図っていきます。

府中・調布・三鷹

ラグビーフェスティバル

ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会の7人制ラグビーが東京スタジアムで開催されることを踏まえ、両大会の成功に向けた機運醸成を図るためには、競技会場の近隣3市が連携する必要があるという認識のもと、2016年からラグビーに関する事業を継続して実施しました。

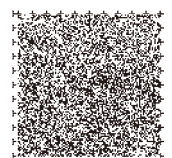
■これまで3市連携で実施した主な取組

日程	取組	場所
2017年 7月1日	府中・調布・三鷹 ラグビーフェスティバル 2017	味の素スタジアム 西競技場
2018年 7月7日	府中・調布・三鷹 ラグビーフェスティバル 2018	味の素スタジアム 西競技場
2019年	5月 ラガマルくんの ラグビールールブック発行	
	7月 13・19日 ラグビートップリーグ観戦ツアー	秩父宮ラグビー場
	12月 21・22日 府中・調布・三鷹 ラグビーフェスティバル 2019	味の素スタジアム AGFフィールド
2020年 11月28日	府中・調布・三鷹 ラグビーフェスティバル 2020	味の素スタジアム AGFフィールド
2021年	7月 ラガマルくんのラグビーセブンズ ガイドブック発行	
	11月20日 府中・調布・三鷹 ラグビーフェスティバル 2021	味の素スタジアム AGFフィールド

ラグビー応援キャラクター「ラガマルくん」

ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会のラグビーセブンズを見据え、ラグビー応援キャラクターとして活動する「ラガマルくん」と連携し、様々なイベントへ出演をいただきました。2018年6月23日には、「ラグビー応援アンバサダー@調布」に任命しました。

海外からのラグビーファンとラガマルくん





### ラグビーに関する連携協定

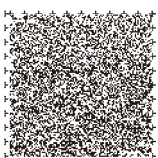
ラグビーワールドカップ2019を契機として、ラグビーを通じたスポーツ振興をはじめ、地域経済の活性化、青少年の健全育成等の多岐にわたる分野において実践した取組を後世に残すべく、2021年4月に地域のラグビーチーム2チームと、

調布市、府中市、三鷹市の5者による連携協定を締結しました。また、2022年1月7日にはラグビー新リーグが開幕しました。調布市、府中市、三鷹市など、東京スタジアム近隣市については、連携協定を締結したラグビーチームのホストエリアとされています。こうした、ラグビーワールド

カップ2019を契機とした連携協定の枠組みを、ラグビー新リーグの開幕を契機として、さらに活用・発展させ、様々な取組を展開することで、スポーツ振興をはじめとした魅力あるまちづくりを進めていきます。

### ■日本車いすバスケットボール連盟と連携した取組

時期	内容
2018年	5月10日 車いすバスケットボール 職員向け体験会
	5月19・20日 天皇杯 第46回日本車いすバスケットボール選手権大会 ●運営・広報協力(スポーツボランティアによる運営補助)
	6月8日～10日 三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP 2018 ●ドイツ代表及び日本代表が総合体育館等を拠点に事前キャンプを実施 ●市内の小中学生による日本代表の歓迎セレモニーや市内障害者施設通所者による車いすバスケットボール体験会、練習試合への市内小学校児童の観戦、大会期間中の市内小中学校児童・生徒による試合観戦などの取組を実施
	7月24日 調布サマーフェスティバル2018での車いすバスケットボール体験
2019年	5月9日 車いすバスケットボール 職員向け体験会(調布市・府中市・三鷹市合同)
	5月10日～12日 天皇杯 第47回日本車いすバスケットボール選手権大会 ●市内小中学校児童・生徒の観戦の取組を実施
	7月24日 調布サマーフェスティバル2019での車いすバスケットボール体験
	8月22日 日本車いすバスケットボール連盟との相互協力に関する協定を締結
	8月29日～9月1日 三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP 2019に係る取組 ●韓国代表及び日本代表が総合体育館等を拠点に事前キャンプを実施 ●市内の学童クラブの児童による日本代表歓迎セレモニー・練習試合への応援、大会期間中の市内小中学校児童・生徒による試合観戦などの取組を実施



**日本車いすバスケットボール連盟との相互協力に関する協定**

市では、東京2020パラリンピック競技大会の車いすバスケットボールの市内開催を見据え、2018年度から天皇杯や三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP の開催などを通じ、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟と相互協力関係を構築してきました。2019年8月、市と同連盟は、車いすバスケットボールを通じた障害者スポーツの普及・振興事業、共生社会の実現に資する事業などについて相互協力に関する

協定を締結しました。協定の締結によって、東京2020大会終了後も相互協力関係の継続を確認することで、パラリンピックレガシーの一つとするものです。



事前キャンプ練習試合後のイラン選手団との交流



日本代表歓迎セレモニー

**INTERVIEW**

**「東京2020パラリンピック競技大会」では男子が銀メダル、女子が6位入賞と大きな盛り上がりを見せた『車いすバスケットボール』。今回、日本車いすバスケットボール連盟の玉川会長に熱い思いを伺いました。**



日本車いすバスケットボール連盟  
会長 玉川 敏彦 さん

**一瞬で、見る人を惹きつけるスポーツ**

年々、車いすバスケットボールへの関心度は高くなっていると感じます。特に「東京2020パラリンピック競技大会」での男女日本代表の活躍が後押しとなり、応援して下さる方が劇的に増えました。大会期間中からSNSフォロワー数はもちろん、サポーター会員の登録者数も増加しました。本当にうれしい限りです。

**車いすバスケットボールの魅力とは**

魅力は大きく分けて、2つあります。

1つめは、障害の程度によって、選手はクラス分けされ、コート上の5人のメンバー構成が変わり、それがチームの戦略・戦術の要となる点<sup>\*</sup>。障害の軽い人だけで試合はできないため、それぞれの持ち点の組み合わせによるチーム構成（戦略）がポイントです。

2つめは、バスケットボールのルールとほぼ同じという点。

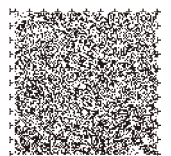
“ダブルドリブルが適用されない”ルールは、車いすバスケット

ボール特有となりますが、それ以外は、コートサイズ、バスケットボールリングの高さ、競技ルールはほぼ同じで、パラスポーツの中でも“競技を知る”という点で非常にわかりやすいのです。  
※障害の重い人は1点、障害の軽い人は4.5点と選手一人ひとりに持ち点といわれる点数が与えられ、コート内5人の選手の持ち点合計が14点以内と定められている

**楽しさを共有し、多様な人々とつながりたい**

調布市では、武蔵野の森総合スポーツプラザで天皇杯や日本代表の国際強化試合を行い、多くの調布市民の方に観戦いただきました。試合観戦を通じて、より身近に車いすバスケットボールの魅力を感じてもらえたと思います。今後も、学校訪問での体験会授業や調布市主催の体験会なども継続することで、地域の皆様と交流していきたいです。車いすは操作が難しいと感じている方が多いかもしれませんが、実際は簡単に操作ができるため、瞬時に楽しさが伝わると思います。

また、車いすバスケットボールを身近なスポーツの選択肢の一つになるよう、育てていきたいです。そのためには皆さんにもっと応援いただけるよう努め、強く魅力的な日本代表を世界へと広めていきたいです。そして、輝く未来をつくっていくのが私たちの目標です。



## 東京2020オリンピック

### 自転車競技ロードレース

#### 8市合同連絡会

1964年以来57年ぶりに東京で開催されるオリンピック競技大会の自転車競技ロードレースについて、2018年8月9日に東京2020組織委員会から1都3県1政令指定都市14市町村を通過するコースが公表され、東京都内では多摩地域の8市が通過自治体として決定されました。

それらの公表及び決定を受け、同日、コース通過自治体の多摩地域8市長による共同声明を発表し、その中で、多摩地域8市を通過する東京2020オリンピック自転車競技ロードレースの開催を契機とするスポーツ振興や観光振興など多摩地域全体の振興につながるよう各市で連携した取組を進めていくこと



都内通過自治体合同記者会見

を表明しました。

その後、多摩地域8市により構成される東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市合同連絡会を組織し、連携した取組を推進しました。

#### パラハートちょうふ

##### 「パラハートちょうふ」とは

東京2020大会の大会ビジョンには、「多様性と調和」という基本コンセプトが掲げられました。調布市は、東京2020大会開催を契機として、共生社会の重要性をこれまで以上に発信するため、「パラハートちょうふ～つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち」のキャッチフレーズを掲げ、様々な分野で取組を展開しています。

##### キャッチフレーズに込めた想い

このキャッチフレーズには、「市内外の多くの方が様々な障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる共生社会を実現したい」という想いが込められています。

##### 「共生社会」とは

すべての人々が、障害の有無、人種、性別などによって分け隔てられ

ることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会のことを言います。2015年に国連で定められた「SDGs:Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)においても、「誰一人取り残さない」ことが原則として掲げられ、共生社会へ向けた取組が求められています。

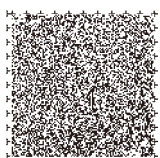
##### ロゴとアートデザイン



このキャッチフレーズを広く活用していくため、幅広く利用可能なロゴを作成しました。また、様々な取組を、より印象的にわかりやすく、一体感を持って展開していくために、取組を象徴する“アートデザイン”を用いたPRを行いました。この“アートデザイン”は、東京2020大会に向けた機運醸成のために2019年7月24日に開催した「調布サマーフェスティバル2019」で、市内の福祉作業所メンバーとイベントに会場した子どもたちが、指や手に絵の具をつけて、一緒に楽しみながら制作したアート作品のデザインです。

#### ■ 8市合同連絡会のこれまでの取組

日程	取組
2018年 8月9日	東京2020オリンピック自転車競技ロードレースコースが公表
2019年 7月11日	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース都内通過自治体合同記者会見 ●自転車ロードレース通過8市 PR 映像公表
2020年 1月25日	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース応援広告掲載 東京2020公認プログラム「TAMA サイクルフェスティバル」 (場所:イオンシネマ シアタス調布、調布駅前広場)
2021年 6月19日~7月18日	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース都内コース体験イベント 「東京8市 Smile Road Project」





アートデザイン

### 主な取組

「パラハートちょうふ」を広めていくため、市民や市内団体等と連携しながら、様々な分野で取組を進めました。

- 多彩な装飾による普及啓発
- 市内の福祉作業所等での取組
- 地域共生推進ふれあい商店等補助事業(バリアフリー補助事業) (→ P.73)
- 障害者スポーツの振興における協議体活用事業 (→ P.61)
- 障害者スポーツ体験会 (→ P.62)

- 東京都市町村ポッチャ大会 (→ P.62)
- FC 東京あおぞらサッカースクール・交流会 (→ P.62)
- パラアート展 (→ P.78)
- 調布・巡る・アートプロジェクト (→ P.78)
- 「パラ劇場研修」 (→ P.78)

市や関連団体の取組だけでなく、市民や市民団体の皆さまにもご協力いただき多様な取組を展開しました。調布中央商店会では、街路灯20本をロゴ・アートデザイン等で装飾しました。商店会の方からは、「道路が明るくなったね」とのお声をいただきました。

また、調布駅前商店街・調布駅前から盛り上げる会では、トートバッグを制作いただき、「調布・巡る・ア

トプロジェクト」の「スマホで巡る スタンプラリー」の一部店舗で販売されました。

### 共生社会の充実に向けて

市では、東京2020大会を契機として、「パラハートちょうふ～つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち」をキャッチフレーズとして、様々な取組を進めてきました。これらの取組は、一過性のもではなく、次代のまちづくりに継承させていくことが重要です。これまでの取組やレガシーを踏まえ、全ての人が手を取り合って暮らせる共生社会の充実を目指し、多様な主体との連携を継続しながら、市の様々な分野での取組として発展させていきます。

## INTERVIEW

### 「東京2020パラリンピック競技大会」開会式にも出演し、 車椅子ダンサー、車椅子サーカスパフォーマーとして活躍している、かんばらけんたさん。 共生社会への想いを伺いました。



#### PROFILE

#### かんばらけんた

1986年生まれ。調布市在住。車椅子ダンサー、車椅子サーカスパフォーマー。先天性二分脊椎症という障害がありながらも、車椅子の上での逆立ちなど、アクロパティックなダンスが特徴。現代サーカスの公演で空中芸も行っている。

#### 車椅子ダンサー・車椅子サーカスパフォーマー かんばら けんた さん

#### 開会式に出演してみた

「東京2020パラリンピック競技大会」の開会式と閉会式の公募があり、そこに応募して審査に合格、出演に至りました。当日は本番直前に雨が降り、どうなるかなと思いましたが、本番中に上を見上げるポーズをしたとき、国立競技場の真ん中でキラキラ光った照明と、その光が重なった雨の景色が広がっていて、今では一番の記憶に残っているシーンです。

あとは、開会式後日に調布市内の街中で何回か「パラリンピックに出演されていましたか？感動しました」と声を掛けていただくことがありました。そんなとき、とても名誉な場所でパフォーマンスができたことをあらためて実感するとともに、とてもありがたい気持ちにもなり、もっとがんばろうとも思えるのです。

他の演者とも交流がありました。中でも、主人公の片翼の女の子はパフォーマンスの経験

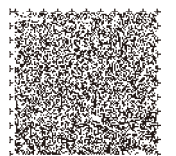
がない子が選ばれましたが、練習中にどんどん成長していく姿を間近で見ることができ、これは自分にとっても良い経験になりました。

#### 共生社会を調布市から実現してほしい

私自身、現在も調布市に住んでいてお気に入りのお店もたくさんあります。調布市内の学校で講演させていただく際は、子どもたちが車椅子ダンスに興味津々でいろいろな質問をしてくれます。分け隔てなく接してくれる地域の方々の温かさ、魅力あるこの街に、これからも長く住みたいなあと思っています！

調布市に限ったことではないですが、駅のエレベーターなど、ハード面でもバリアフリーが進んでいると実感しています。また、パラリンピックで知ってくださった方々がパフォーマンスに興味を持ってくれたりもします。

これからも自分の活動を広めていくとともに、『違う身体だから面白い』という経験をすることで、共生社会が進んでいけばうれしいです。



世界最大級のスポーツイベントに向け、調布市にゆかりのある現役アスリートを「調布市応援アスリート」として認定し、市をあげて応援する取組を実施しました。大会へ向けた応援のみならず、大会終了後も応援を続けることで、一層のスポーツ振興を目指すものです。応援アスリートの日頃の練習の様子や出場する国内・国際大会などについて、広く市民に情報を提供するとともに、市民と応援する機会を創出しました。



2021JPBF

### パラバドミントン 山崎 悠麻 選手

山崎選手は、スポーツ祭東京2013でパラバドミントンを観戦したことをきっかけに競技をはじめ、翌年から国際大会・国内大会において数々の輝かしい成績を残しています。2019年12月14日から15日まで千葉市の千葉ポートアリーナで開催された「第5回ダイハツ日本障がい者バドミントン選手権大会」で山崎選手・里見選手ペアが女子ダブルスで2連覇を達成しています。2017年9月までは調布市の職員として在籍していたことから調布市応援アスリートに認定しました。よりバドミントンに専念できる環境を求め、現在はNTT都市開発株式会社に所属しています。東京2020パラリンピック競技大会では、女子ダブルス（里見紗李奈ペア）で金メダル、女子シングルスで銅メダルを獲得しました。



ニタクニュース Bobson

### 卓球 <sup>まさたか</sup> 森蘭 政崇 選手

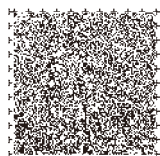
森蘭選手は、2014年に調布市内に卓球部の合宿所が所在する明治大学に入学しました。以後、4年次に主将を務めるなど、2018年3月の卒業までチームの大黒柱として活躍されました。現在はBOBSONに所属、世界選手権ダブルス準優勝や全日本選手権ダブルス優勝など、輝かしい戦績を残しています。また最近ではメディアへの出演も多く、今後の活躍もさらに注目されています。卒業された明治大学の卓球部の合宿所が調布市内に所在することから応援アスリートに認定しました。



FC東京

### サッカー 平川 怜 選手

平川選手は、地元 上ノ原 SC から FC 東京 U-15むさしに加入し、2016年にFC東京 U-23の一員としてJ3リーグに出場し、2017年11月1日に17歳でFC東京とプロ契約をしました。また、各世代別の日本代表にも選出され、同年9月にはFIFA U-17ワールドカップでも中心選手として活躍しました。2019年7月には鹿児島ユナイテッド FC に期限付きで移籍し、シーズン終了後、FC東京に復帰しました。また、2021年には、松本山雅 FC へ期限付きで移籍をし、シーズン終了後、FC東京に復帰しました。平川選手は調布市内の上ノ原小学校、神代中学校の出身であることから応援アスリートに認定しました。





©岸本 剛

### バドミントン 桃田 賢斗 選手

桃田選手は、2019年の全英オープンバドミントン選手権大会において、日本人男子シングルス初となる金メダルの獲得や、福州中国オープン・BWF World Tour Finals・マレーシアマスターズの優勝など史上最多ツアー11勝の快進撃を遂げました。2018年9月から男子シングルス世界ランキング1位を継続し、東京2020オリンピック競技大会にも出場しました（2022年1月末世界ランキング2位）。桃田選手の所属するNTT東日本バドミントン部の練習拠点が調布市に所在していることから、応援アスリートに認定しました。



Taku

### パラローイング 有安 諒平 選手

有安選手は、2016年に視覚障害者柔道からパラローイング（ボート）に競技転向し、翌年2017年にはパラローイング協会 指定育成選手に選ばれました。2019年はアジア選手権で準優勝を果たすなど、目覚ましい活躍を残しており、東京2020パラリンピック競技大会へ出場しました。調布市内在住（指定当時）の現役アスリートということから応援アスリートに認定しました。有安選手は東京都が行う「東京アスリート認定選手」にも認定されています。



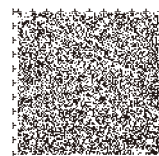
### パラ水泳 松田 <sup>あんく</sup> 天空 選手

松田選手は、2020年3月から一般社団法人日本知的障害者水泳連盟国際大会強化指定選手に選抜され、2021年5月に100mバタフライで東京パラリンピック派遣標準記録を突破するなど数々の大会で好成績を収めています。2021年12月には100mバタフライで、短水路世界新記録を突破しており、今後のパラリンピックへの出場が期待されています。所属する水泳クラブ GAGANI が市内を拠点に活動しており、また松田選手自身も市内在住であることから応援アスリートに認定しました。東京都が行う「東京アスリート認定選手」にも認定されています。

au 5G  
C.N.G.E.

### サッカー 相馬 勇紀 選手

相馬選手は、調布市出身で地元の布田 SC、三菱養和 SS、三菱養和 SC 調布 Jr ユースに加入し、2013年には国体のサッカー少年男子に東京都代表として出場し優勝、2014年には日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会で優勝しています。2019年に名古屋グランパスに正式加入し、U-22、23日本代表、日本代表にも選出され、東京2020オリンピック競技大会ではサッカー男子日本代表メンバーとして出場し、ベスト4に進出しました。



## アスリートへの応援の取組

市をあげて調布市応援アスリートを応援すべく、アスリートのことを市民に知ってもらうための取組や、アスリートに直接エールを届ける取組などを実施しました。

こうした取組に対し、東京2020大会に出場したアスリートから、市民へ御礼のメッセージをいただきました。今後も、応援アスリート事業を継続しながら、市をあげてアスリートを応援していきます。

### 主な取組

- アスリートへのインタビュー（記事は市報、ホームページ、SNSでPR）
- 市民の皆さまからの応援メッセージの募集（集まったメッセージは選手本人にお届け）

### その他の取組

#### ●桃田賢斗選手への「応援 - エール -」を送ろう！事業の実施

調布市応援アスリートの桃田賢斗選手が全治3か月の怪我を負われたとの報道を受け、市では「応援 - エール - を送ろう！」企画として、多くの市民・ファンの思いを届け、一日も早いご快復を祈念するため千羽鶴、応援メッセージの募集を次のとおり実施しました。

**事業内容** 千羽鶴の募集、応援メッセージカードの募集、Twitterでハッシュタグ「#桃田選手がんばれ」をつぶやこう、応援旗の作製

**実施日** 2020年2月21日から同年3月31日まで

**募集場所** 市役所2階、調布市総合体育館、文化会館たづくり1階など

**募集結果** 千羽鶴11,619羽、応援メッセージカード373枚



千羽鶴



桃田選手へのメッセージ



桃田選手応援募

#### ●平川怜選手への「応援 - エール -」を送ろう！事業の実施



応援メッセージを受け取った平川選手

調布市応援アスリートの平川怜選手が全治3か月の怪我を負われたことを受け、市では「応援 - エール - を送ろう！」企画として、次のとおり実施いたしました。

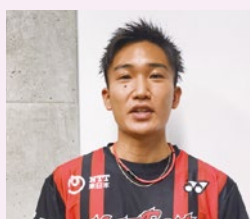
**事業内容** 応援メッセージの募集、Twitterでハッシュタグ「#平川選手がんばれ」をつぶやこう

**実施日** 2021年4月27日から同年6月10日まで

**募集結果** 応援メッセージ 約200枚

## 東京2020大会へ出場した応援アスリートからのメッセージ

大会へ出場するアスリートへ届けた多くのエールに対し、アスリートご本人から御礼のメッセージをいただきました。



桃田選手



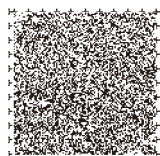
相馬選手



山崎選手



有安選手





## 東京2020大会への

### 応援アスリートの出場と結果

調布市応援アスリートからは4人の選手が出場し、相馬勇紀選手がサッカー男子でベスト4に進出、元調布市職員の山崎悠麻選手は、パラバドミントン女子ダブルス（里見紗李奈ペア）で金メダル、女子シングルスで銅メダルを獲得する活躍を見せました。

### 東京2020大会報告会の実施

大会終了後は、山崎悠麻選手、有安諒平選手による東京2020大会報告会を実施しました。

#### 山崎悠麻選手

報告会で山崎選手は、「今回の大会では、女子ダブルスで金メダル、シングルスではメダル獲得を目標にしていました。東京2020大会の1年延期もあり、モチベーションを保つのは難しいと感じましたが、調布市応援アスリートということで、調布市から応援の動画を作っていたり、メッセージの冊子をいただいたりして、気持ちがつらい時にそれを見てすごく励まされ頑張ることができました。そのような中で、ダブルスで金メダル、シングルスで銅メダルを獲得することがで

### 東京2020オリンピック競技大会

#### 桃田賢斗選手

出場種目：バドミントン男子シングルス  
大会結果：予選敗退

#### 相馬勇紀選手

出場種目：サッカー男子  
大会結果：ベスト4

### 東京2020パラリンピック競技大会

#### 山崎悠麻選手

出場種目：バドミントン女子シングルス WH2、女子ダブルス WH1-WH2  
大会結果：女子シングルス WH2銅メダル、女子ダブルス WH1-WH2金メダル

#### 有安諒平選手

出場種目：ボート混合 PR3舵手つきフォア 大会結果：12位

き、自信にもなり、とても楽しいパラリンピックになりました。次のフランスでのパリ大会も頑張っていきたいと思っていますので、これからも応援よろしくお願いします。」と話しました。

また、山崎選手には、優秀な成績を収め、市民に大きな感動を与えてくれたことを称え、「調布市民スポーツ栄誉賞」を贈りました。



市民スポーツ栄誉賞受賞の様子

### 有安諒平選手

報告会で有安選手は、「パラリンピック大会に実際に参加し、たくさんの方のボランティアの方や大会スタッフの方、そしてこうして応援してくれている皆さんがいて、初めて成立している空間なんだと感じました。そうした素晴らしい大会に参加させていただいているということが非常に光栄に感じましたし、これからのパラリンピックが果たす役割として、選手の立場からメッセージを発信していかなければならないということを感じさせられました。本当に素晴らしい機会をありがとうございました。」と話しました。

有安選手には、大会に出場し、市民に大きな感動を与えてくれたことを称え、感謝状を贈りました。



報告会の様子(中央下:山崎選手)



報告会の様子(左から2番目:有安選手)



## 第4部 ホストタウン

**ホストタウンとは**

ホストタウンとは、東京2020大会に向けて、地域の活性化や観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を国が登録する制度です。ホストタウンに登録された自治体は、住民と来日した選手らがスポーツ・文化など様々な事業を通じて交流を行っています。調布市はサウジアラビア王国のホストタウンとして、2016年1月26日に登録されました。

**登録までの経緯**

サウジアラビア王国と調布市は、2002FIFA ワールドカップでサウジアラビア代表チームの公認キャンプ地として調布市が選ばれたことをきっかけに交流が始まりました。大会後には、市民の有志により「調布



市サウディアラビア友好会」が発足し、サウジアラビアの留学生と市民がフットサルを行う「サウディアラビアン国際親善カップ」や「アラブ イスラーム学院訪問事業」など、様々な交流事業が実施されました。その後も交流は続き、2016年1月、調布市がサウジアラビア王国のホストタウンに登録されました。

**主な取組実績****アラブ イスラーム学院訪問  
(2003年～)**

市の子どもたちがアラブ イスラーム学院を訪問して、国や文化に関する講座、自分の名前をアラビア語で書く体験などを行いました。また、昼食には、サウジアラビア料理のカプサを食べるなど、食を通してサウジアラビアの文化を体験しました。

**留学生との交流(2016年～)****【和文化体験】**

市や日本の文化に親しんでいただくため、留学生とご家族が和文化を体験しました。

**【木島平バスツアー】**

市の姉妹都市長野県木島平村へのバスツアーに留学生が参加し、りんご狩りやノルディックウォーキングを楽しみました。

**アラビア書芸展(2017年)**

アラビア書芸の展示や、文化・歴史についての講演会を行いました。

**サウジアラビア文化展(2018年～)**

民芸品や伝統的なテントなどを展示し、サウジアラビアからの留学生が来場者へ展示品などの案内を行いました。

**講演会・カプサの調理体験  
(2018年～)**

サウジアラビア文化展では、講演会や家庭料理の調理体験も行いました。講演会では、サウジアラビアの観光スポットや食べ物、スポーツなどについてお話しいただきました。調理体験では、家庭で作れるレシピを元に伝統料理である「カプサ」を作りました。





### 調布サマーフェスティバル 2019 (2019年7月24日)

東京2020大会の開催に向けた機運醸成の取組として実施した「調布サマーフェスティバル2019」に参加し、アラビックコーヒーやデザートの提供をしました。また、法被を着た留学生が来場者と一緒に東京五輪音頭「2020」を踊りました。



### 調布スクラムフェスティバル Vol.6 (2019年)

ラグビーワールドカップ2019の期間中、調布駅前のファンゾーンに隣接して開催された「調布スクラムフェスティバル Vol.6」に参加し、テントの展示や民族衣装の試着、また、留学生にご協力をいただきアラビックコーヒーやデザートの提供、ハナタトゥー体験を実施しました。



### 調布市国際交流平和都市宣言を アラビア語に翻訳(2020年)

調布市国際交流平和都市宣言30周年の節目の年となった2020年に、サウジアラビア王国大使館文化部協力のもと、宣言文のアラビア語翻訳を行いました。

### 調布市×サウジアラビア王国 ホストタウン フレーム切手 (2020年)

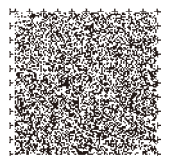
日本郵便株式会社と連携し、サウジアラビア王国大使館文化部の協力のもと、ホストタウンであることを記念したオリジナルフレーム切手を作成しました。切手は市内の郵便局などで限定販売されました。また、切手の完成を記念し、日本郵便株式会社東京支社長、サウジアラビア王国大使館文化部文化アタッチェ、調布



市サウディアラビア友好会関係者など、多くの関係者が集まり贈呈式を行いました。

### 「調布市とサウジアラビア王国の 交流の軌跡」発行(2020年)

市とサウジアラビア王国との交流の歴史やサウジアラビア王国についてまとめた冊子を発行しました。



## 東京2020大会時の交流の

### 検討と断念

#### サッカー男子サウジアラビア代表が

#### 東京2020オリンピック出場決定

2020年1月、東京2020オリンピック競技大会の出場をかけた男子サッカー（23歳以下）アジア選手権の準決勝が行われ、サウジアラビア代表はウズベキスタン代表に1対0で見事勝利しました。この試合で決勝進出を決めたことにより、1996年のアトランタオリンピック以来、24年ぶりにオリンピックへの出場が決定しました。

### 交流の検討と断念

サウジアラビア代表の東京2020オリンピック出場決定を踏まえ、大会前後に選手団と市民との交流や、コミュニティライブサイトでサウジアラビア代表を応援する「サウジアラビア応援 DAY」などの事業を検討しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、大会が1年延期となりましたが、2021年4月にはサウジアラビア大使館を訪問し、東京2020大会時において、選手団との交流を要望しました。しかし、感染症の影響が続くなか、2021年6月には、選手団及び市民の安全・安心確保の観点から、選手団と市民が直接交流する事業の実施を断念しました。

### 3市町連携と大会に向けた

#### オンライン交流

内閣官房オリパラ事務局より、コロナ禍という状況においてもホストタウンの取組を促進するため、オリパラ基本方針推進調査（新型

新型コロナウイルス感染症流行下におけるホストタウンの交流や情報発信の在り方等）が実施されました。市においては、同じサウジアラビアのホストタウンである岩手県大槌町と愛媛県新居浜市とともに、3市町連携による応援リレーメッセージ動画の制作及びパブリックビューイングでの共同応援に向けた事業準備を進めました。

#### 応援リレーメッセージ動画

調布市・大槌町・新居浜市の住民等が出演し、選手へのメッセージ動画を制作しました。市からは、深大寺、FC東京スクール生、上石原保育園、西部児童館、そしてサウジアラビア大使館文化部にご協力をいただきました。動画は2021年7月から、内閣官房 YouTube チャンネル「Light up HOST TOWN Project」にて配信されました。



深大寺



上石原保育園



西部児童館

### パブリックビューイングでの

#### 共同応援

調布市におけるコミュニティライブサイトにおいて、サッカー男子サウジアラビア代表戦が開催される2021年7月25日を「サウジアラビア応援 DAY」とし、3市町共同でのサウジアラビア代表を応援する取組に向け準備を進めました。しかし、2021年6月、感染症等の状況を踏まえ、市主催のコミュニティライブサイトの中止を決定しました。こうした状況を受け、サウジアラビア応援 DAYについてもオンラインによる交流へ向けて方針を転換しました。

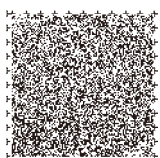
#### オンラインキックオフミーティング

2021年6月30日、調布市、大槌町、新居浜市、サウジアラビア大使館文化部、JICA、調布市サウディアラビア友好会などが参加し、オンラインによるキックオフミーティングを実施しました。ミーティングでは、ホストタウン3自治体の紹介や、サウジアラビア関係者との意見交換が行われました。

### 東京2020大会に出場した

#### サウジアラビア代表選手

サウジアラビアは、サッカー男子をはじめ、12種目に代表選手が出場し、健闘しました。なかでも空手男子組手75キロ超級のタレグ・ハメディ選手が銀メダルを獲得し、サウジアラビア勢で東京2020大会唯一のメダルとなりました。



## サウジアラビア応援 DAY

2021年7月25日、ホストタウンを通じて親交を深めるサウジアラビア王国と、調布市、岩手県大槌町、愛媛県新居浜市が連携し、「サウジアラビア応援 DAY」と題したライブ配信を実施しました。在日サウジアラビア大使館員、サウジアラビア留学生、各市町長、市町民など、様々な方に参加していただき、サウジアラビア王国や他の自治体の魅力を知るきっかけとなる事業となりました。

### 主な内容

1. オープニング・出演者紹介
2. 6月30日開催「キックオフミーティング」のダイジェスト映像
3. 市町民の質問に首長が答える Q&A トークイベント
4. サウジアラビアをもっと知ろう 留学生によるプレゼンテーション
5. サウジアラビアの方々へのサプライズ企画 (サウジアラビア国歌斉唱)

### 主な出演者

サウジアラビア大使館員	調布市長 長友 貴樹
文化アタッシュエオフィス MG	大槌町長 平野 公三
パドル アルオタイビ	新居浜市長 石川 勝行
在日サウジアラビア留学生	3市町の職員住民等
調布市サウディアラビア友好会	調布市国際交流協会 ほか

### サウジアラビア王国国歌斉唱

サウジアラビア応援 DAY の実施に伴い、サウジアラビア関係者へのサプライズ企画として、3市町が連携して「サウジアラビア国歌」の合唱を行いました。調布市からは、調布市国際交流協会の会員を中心に参加いただき、素晴らしい合唱を披露していただきました。アラビア語での合唱にはとても苦労しましたが、サウジアラビアの方々にもとても喜んでいただき、両国の絆を更に深めることができました。



## 3

## 【第3章】聖火リレー

## オリンピック聖火リレー

オリンピック聖火リレーとは、ギリシャのオリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。

### 東京2020オリンピック 聖火リレーのコンセプト

## Hope Lights Our Way

希望の道を、つなごう。

支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らしだします。



### 東京2020オリンピック 聖火リレーについて

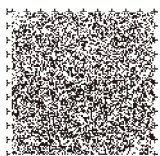
東京2020オリンピック聖火リレーは、2021年3月25日に福島県ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジでスタートし、121日間をかけて日本全国47都道府県を巡り、15,000人以上の人々によってつなげられました。その後、開会式当日に、最終ランナーによって、オリンピックスタジアムの聖火台に灯されました。

### 当初計画

2020年7月16日に市内を通過する予定でしたが、東京2020大会の延期により、2021年7月15日に日程が変更となり、調布市を通過後は、同日に島しょ地域へと渡る行程でした。

市内ルートは、9時に深大寺を出発し、武蔵境通りや甲州街道を通過しながら、9時53分に調布駅前広場に到着地点とするルート（約4km）でした。また、出発地である深大寺においては、公式セレモニーとして出発式が開催され、到着地である調布駅前広場では到着イベントを開催する予定でした。

点火セレモニーの様子（松田天空さん<sup>あんく</sup>）



## 出発式（深大寺）の主な計画内容

- ウェルカムプログラム  
市内音楽大学学生による演奏、深大寺ご住職による挨拶、ご住職と僧侶による声明
- 出発式  
聖火ランナーインタビュー、聖火入場、トーチへの点火、フォトセッション。聖火ランナー出発時には、市内小学校児童により聖火ランナーを花道にてお見送り

## 到着イベント（調布駅前広場）の主な計画内容

- 大型ビジョンによるライブストリーミング映像や沿道で撮影した映像の放映
- MCによるランナープロフィール等の紹介、1964年聖火ランナーインタビュー、市内音楽大学学生による演奏、フォトセッションなど
- 聖火リレースポンサー企業による盛り上げイベントの展開

## 調布市聖火リレーサポーター

### （ボランティア）

2021年3月1日から3月31日まで、オリンピック聖火リレーの運営にご協力いただく「調布市聖火リレーサポーター」を募集しました。聖火リレーサポーターの方々には、聖火リレーのコース沿道やセレモニー会場等で、沿道の走路管理や観衆・雑踏の整理、コース沿道の資機材（コーン、バー）の設置・撤去のサポートなどの活動を行っていただく予定でした。募集人数は、520人程度でしたが、市内はもとより市外からも募集人数を大幅に上回る約780人の方から応募をいただきました。



予定されていたオリンピック聖火リレー市内ルート

**東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー**

**調布市  
聖火リレーサポーター  
募集**

**募集期間** 2021年  
**3月1日(月)~3月31日(水)**

調布市では、調布市内の聖火リレーの運営にご協力いただく「調布市聖火リレーサポーター」(ボランティア)を募集します。オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火リレーのどちらか一方のみの活動も可能です。多くのおみなさまからの応募をお待ちしています。

**活動日時** (調布市道徳日)

オリンピック聖火リレー	7月15日(木)	早朝からお昼頃までの2~4時間程度(予定)
パラリンピック聖火リレー	8月23日(月)	午後から夕方頃までの2~4時間程度(予定)

**活動場所** 調布市内における聖火リレーのコース沿道、セレモニー会場、聖火ランナー集合場所等

**活動内容** 聖火リレー沿道の走行管理、聖火リレー沿道周辺の観衆・雑踏の整理等

調布市聖火リレーサポーターユニフォーム(「シャツ」)を差し上げます。

※応募要項・応募方法などはこの募集要項、調布市聖火リレーサポーター募集要項(2021年3月1日~3月31日)をご覧ください。  
募集要項: 100-446-1147 | chofu@chofu-city.jp

## コロナによる影響（公道走行中止）

2021年6月4日、新型コロナウイルス感染拡大の状況や人流のコン

ロールが困難である等の理由から、市は到着イベントを中止することを決定しました。あわせて、出発式では、一般観覧者を募集することで準備を進めていましたが、感染拡大の状況等を踏まえ、募集を中止することにしました。

その後、6月29日に東京都聖火リレー実行委員会からオリンピック聖火リレーの実施形態の変更について公表があり、公道での走行が中止となりました。こうした状況に伴い、出発式をはじめ、ボランティア活動についても中止となりました。

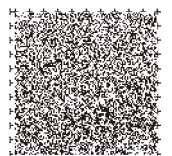




Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020

### 点火セレモニー

公道での走行に代えて、2021年7月16日、セレブレーション会場となる武蔵野陸上競技場（武蔵野市）にて点火セレモニーが関係者のみで開催されました。市長挨拶、トーチ点火、聖火ランナーによるトーチキス・フォトセッションが行われました。



### 深大寺による天台声明

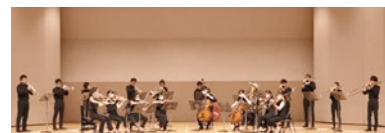
2021年7月5日、深大寺にて、僧侶達による声明しょうみょうが唱えられました。声明とは、法要儀式の際、经文や真言に旋律・抑揚をつけて唱える仏教音楽で、邦楽の源流とされています。とりわけ、天台声明は千年来の確固とした楽理と最も美しい旋律で知られ、僧侶の方々はその伝承のため、日々研鑽されています。東京



2020オリンピック成功の願いとともに、お唱えいただきました。

### 市内音楽大学学生による演奏

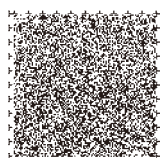
東京2020オリンピック聖火リレー出発式等において、市内音楽大学の学生による演奏が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大による公道走行中止を受け、中止になりました。そのため、代わりに、グリーンホールにおいて、演奏を行っていただきました。



### 聖火リレーに関する記録映像

点火セレモニーや深大寺の声明、市内音楽大学学生による演奏を含む聖火リレーの調布市関連の取組の様子については、「東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー調布市記録映像」として保存し、未来へ継承します。

※記録映像は市役所にて保管するとともに、調布市動画ライブラリーにて公開





INTERVIEW

聖火ランナーインタビュー



とおま  
紙屋 十磨さん

平和や希望の象徴の聖火をランナーとして、無事につなぐ事ができましたこと、関係者の皆さまには心より感謝申し上げます。私も一度は目指したオリンピックが、この東京で開催されることはとても感慨深く、また競技を再開したい気持ちにもかられました。



あんく  
松田 天空さん

失敗したらどうしようかと不安でしたが、聖火を無事につなげることができて良かったです。トーチは思っていたよりも重くてけっこう腕が疲れました。手で持つ部分は全く熱くなく、上手くできているなあと思いました。



調布リトルリーグ・リトルシニア

はるか  
伊藤 遠さん

今回は聖火ランナーという貴重な体験をさせていただきありがとうございました。トーチは思ったよりも軽くてできていたが様々な想いを炎から感じる事ができ、重みを実感しました。今はコロナによってオリンピック中止の声もありますが、開催することの意義を体感することができました。

はると  
大和田 陽翔さん

走ることができずごく残念でしたが、一生に一度しかないことだから、何かできたらいいなと思っていたらセレモニーで聖火をつなぐことができると知り嬉しかったです。持ってみると思ったよりも重さがありました。カメラがたくさんあり緊張しましたが、貴重な体験ができて良かったです。

越智 継治郎さん

今回は貴重な体験ができて、とても嬉しいです。このような体験ができたのは、自分の力だけでなく、保護者や指導者の方々のおかげなので、周りの人達に支えられていることを実感し感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

掛場 佑人さん

今回点火セレモニーに参加できて嬉しく思います。昨年はコロナがあり延期になってしまい、走ることができずに心配していましたが、今年に入り点火セレモニーを行うことを知った時は嬉しかったです。オリンピックを成功させる為に協力できたことを感謝しています。

川口 大志さん

今回は自分たちに貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。今回このような経験ができたのは、自分たちを支えてくれた保護者や指導者の皆さまのおかげだと思います。その方々には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

岸川 和広さん

僕が聖火ランナーをしてみようと思ったことは、聖火ランナーをテレビで見ている人がたくさんいるんだなあと感じました。また、今までお世話になった指導者や両親への感謝の気持ちを持って、聖火リレーができたので、これからもこの気持ちを忘れずに感謝の気持ちを持って行動していきたいです。

小針 大輝さん

聖火ランナーという貴重な体験をさせていただきとても光栄です。実際に感じたことは、日本全国からつながってきているトーチにはたくさんの人の思いが詰まっていて、1.2キロよりもはるかに重く感じました。今はコロナ禍ということで暗くなっている人達に希望を与えられる大会になってほしいと思いました。

しゅう  
西川 立翼さん

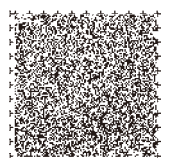
今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございます。聖火リレーは色々な人がつないだ物を自分たちもつなぐことができ良かったです。今回の聖火リレーができるかわからない状況で開催できて良かったです。コロナで厳しい生活をしている人々に明るい未来が見えますように。

西澤 丈さん

今回は光栄な体験をさせていただき、ありがとうございます。聖火リレーはコロナの影響で開催できるか不安でしたがトーチキスという形で開催できました。聖火リレーを開催して下さった運営の方々に感謝したいです。今回の大会が、コロナに苦しんでいる人々に届くよう願っています。

三崎 悠人さん

公道を走ることはできませんでしたが、セレモニーに参加させていただいてトーチを持ったり、とても良い体験ができ、その時に持ったトーチの重さは1.2キロしかありませんでしたが、それ以上にたくさんの人の想いもつまってすごく重たく感じたのを、今も鮮明に覚えています。関係者の皆さま、ありがとうございました。



## 3

## 【第3章】聖火リレー

## パラリンピック聖火リレー

パラリンピック聖火リレーは、「パラリンピック聖火はみんなのものであり、パラリンピックを応援する全ての人の熱意が集まることで聖火を生み出す」というIPCの理念に基づいて開催されます。

### 東京2020パラリンピック 聖火リレーのコンセプト

## Share Your Light

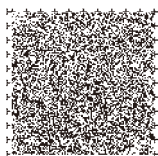
あなたは、きっと、誰かの光だ。

「新たな出会いから生まれる光を集めて、みんなが調和し、活かしあう社会を照らし出そう。」という思いを端的に表しており、また、パラリンピック聖火リレーを通じて、多様な、そして社会の中で誰かの希望や支えとなっている光（人）が集まり、出会うことで、共生社会を照らす力としようという想いを表現しています。

### 東京2020パラリンピック 聖火リレーについて

東京2020パラリンピック聖火リレーは、オリンピックの熱気と興奮をつなぐべく、オリンピック終了後、2021年8月12日から8月24日のパラリンピック開会式までの期間に開催されました。コンセプトに基づいて、この大会を契機に共生社会を実現し、人と人、人と社会との、「新しいパートナーシップ」を考えるきっかけとなることを目指し、原則として「はじめて出会う3人」がチームになってリレーが行われました。

聖火リレーで用いられたパラリンピック聖火は、パラリンピック発祥の地とされている、イギリスのストック・マンデビルと47都道府県で採火された炎が開催都市である東京で一つとなり、誕生したものです。そして、パラリンピック聖火として、開催都市を巡りました。



## 当初計画

2020年8月24日に市内を通過する予定でしたが、東京2020大会の延期により、2021年8月23日に日程が変更となりました。市内ルートは、17時38分に西調布駅北口ロータリーを出発し、旧甲州街道やスタジアム通りを通過しながら、18時04分に東京スタジアム前歩道橋上を到着地点とするルート(約1.5km)でした。また、到着地では、公式セレモニーとして、ミニセレブレーションを開催する予定でした。

## ミニセレブレーション

### (東京スタジアム前歩道橋上)の

#### 主な計画内容

##### ●ウェルカムプログラム

はねっ鼓(知的障害者を中心に親子で楽しむ和太鼓サークル)による演奏など

##### ●ミニセレブレーション

聖火ランナーインタビュー、  
フォトセッションなど

## 調布市聖火リレーサポーター

### (ボランティア)

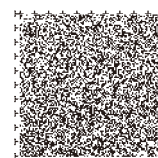
2021年3月1日から3月31日まで、パラリンピック聖火リレーの運営にご協力いただく「調布市聖火リレーサポーター」を募集しました。オリンピック聖火リレーサポーターと同様の活動を行っていただく予定でした。募集人数は、280人程度でしたが、市内はもとより市外からも募集人数を大幅に上回る約520人の方から応募をいただきました。

## コロナによる影響(公道走行中止)

2021年8月10日に東京都聖火リレー実行委員会からパラリンピック聖火リレーの実施形態の変更について公表がありました。緊急事態宣言が8月31日まで延長されたことに伴い、調布市が通過する8月23日を含む5日間(8月20日~24日)に実施される聖火リレーは全て、公道での走行中止が決定され、ミニセレブレーションについても中止となりました。こうした状況に伴い、ボランティア活動についても中止となりました。



予定されていたパラリンピック聖火リレー市内ルート





点火セレモニー

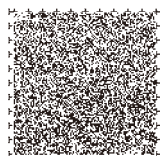


都内到着式

### 点火セレモニー、都内到着式

公道での走行に代えて、2021年8月23日16時38分から17時まで、セレブレーション会場となる都立砧公園ねむの木広場（世田谷区）にて点火セレモニーが関係者のみで開催されました。

また、8月24日に都立代々木公園陸上競技場（織田フィールド）（渋谷区）にて開催された都内到着式に、調布市とFC東京の連携事業である「FC東京あおぞらサッカースクール in 調布」がグループランナーとして参加しました。都内到着式では、東京都知事があおぞらサッカースクールのメンバーのトーチに点火しました。メンバーは、陸上競技場内を走行後に、最終ランナーである、



「国際パラリンピック委員会 特別親善大使」の稲垣吾郎さん、草薨剛さん、香取慎吾さんにトーチキスをしました。最終ランナー走行後には、東京都知事挨拶やフォトセッション、ブルーインパルスによる展示飛行も行われました。

### 採火、聖火ビジット

東京2020パラリンピック聖火リレーでは、全国各地において、共生社会への思いが込められた火の独自手法による「採火」、学校や病院、パラリンピックゆかりの地などへの炎の訪問イベントである「聖火ビジット」、各道府県から採火した火を開催都市である東京へ送り出す「出立」などが開催され、これらの総称を聖火フェスティバルと呼び

### 聖火ビジット実施場所

1. 調布市文化会館たづくり 1階エントランスステージ
2. 調布市総合福祉センター
3. 調布市希望の家
4. 希望の家深大寺
5. 市民プラザあくろす 市民活動支援センター
6. 調布市こころの健康支援センター
7. 調布市知的障害者 援護施設なごみ
8. 調布市知的障害者 援護施設よかせ
9. ちょうふだぞう
10. しごと場大好き
11. ドリームボックス下石原
12. ファーストステップ
13. めじろ作業所
14. わかば第一事業所
15. 爽々苑
16. にこにこキッズルーム
17. ふくふく
18. ひいす

ます。市においては、2021年8月20日に開催された東京都の聖火フェスティバルに参画しました。

市では、深大寺の護摩祈願の火から「調布市の火」を採火しました。その後、調布市の火を都内集火式（東京都庁 都民広場で開催）へ持ち込み、集火式では都内全62市区町村の火が一つとなり、東京2020パラリンピック聖火「東京都の火」が生まれました。

その後、東京都の火を市に持ち帰り、福祉施設や文化会館たづくりなど市内18か所で、聖火ビジットとして展示しました。



都内集火式



深大寺での採火



聖火ビジット (文化会館たづくり)



聖火ビジット (調布市総合福祉センター)



聖火ビジット (ドリームボックス下石原)



聖火ビジット  
(調布市知的障害者  
援護施設なごみ)

INTERVIEW

聖火ランナーインタビュー



Photo by Tokyo 2020

FC 東京あおぞらサッカースクール  
in 調布の皆さん(グループランナー)

小寺 汐さん

あおぞらサッカーのメンバーで聖火リレーに参加しました。友達や職場の人が「頑張って」と言ってくれました。トーチが重くて少し緊張しました。友達から受け取ったトーチをもって走りました。みんなが拍手してくれてうれしかったです。稲垣吾郎さんに聖火をリレーしました。とても楽しかったです。

外園 健太郎さん

聖火ランナーに選ばれて、嬉しくて「一生懸命頑張るぞ!」と思って本番にのぞみました。トーチは重かったけど、みんなで聖火をつないでチームワークを深められたと思います。関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

鈴木 英美さん(お母様代筆)

パラの聖火リレーのランナーに選ばれたと一報をいただいた時、家族全員夢のようだと思いました。そして何となく



Photo by Tokyo 2020

隈元 凌さん

公道を走ることはできませんでしたが、一組3名でのトーチキスに参加させていただき、いままで支えて下さった方々への感謝の気持ち、緊張とわくわく感でいっぱいでした。この貴重な経験のもと、これからの共生社会の中で障害者スポーツが地域で行われるようになれば嬉しいです。

運の良い娘なのだと思います。会場が最終地点の到着式で、都知事から直々に聖火をいただき 2度びっくりでした。1時間ほどの式典でしたが、多くのスタッフ、ボランティアなどの方々が長時間運営に携わり、また参加することで成り立っているのだと感心しました。暑くて疲れた1日でしたが、一生に一度の貴重な経験でした。

鯨井 健太コーチ

このような大役を務めることができ、とても光栄に思います。スクール生とも一緒に笑顔で走り、火をつなげられて嬉しく思いました。パラリンピック競技で日本の皆さまの活躍も期待しますし、これからもサッカーを通じて様々な人に笑顔を届けたいと思いました。本当にありがとうございました。

